|  |  |
| --- | --- |
| Káº¿t quáº£ hÃ¬nh áº£nh cho fpt university logo | **教育訓練省**  **FPT大学日本語学科日本語専攻** |

**卒業論文  
Graduation Thesis Document**

**異字同訓の研究  
―「固い」「硬い」「堅い」を事例に―**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **グループ1** | | |
| **グループメンバー** | | Nguyen Trong Hoang (SB02489) Nguyen Thu Thien Minh (SB02475) Do Phuong Van (SB01973) |
| **指導教官** | | Keiichiro Someya |
| **提出日** | | 2021年4月28日 |

ハノイ於、2021年4月

# 要旨

本研究はで、『現代書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）活用して「固い」「硬い」「堅い」を事例として異字同訓の使い分けの調査を行う。コーパス検索アプリケーション『中納言』を用いてデータの抽出を行い、「かたい」501件、「固い」1,375件、「硬い」1,183剣、「堅い」552件、総計3,611件の用例を調査の対象とした。これらのデータについて使用されるレジスターと共起する名詞・動詞の意味に基づき分析を行った。レジスターの分析では、「特定目的・国会会議録」と「特定目的・教科書」では「かたい」の出現が多かった。一般の人々に向けた「特定目的・広報紙」では広く使用されている「固い」の出現が多かった。一方で「特定目的・ブログ」や「特定目的・知恵袋」では漢字表現の出現が多く、「かたい」の出現がほぼなかった。共起する名詞の分析では、「固い」では結びつきの関係を表す「心」の意味の名詞の出現が多かった。「硬い」では物体・物理的な「物品」「身体」の意味の名詞の出現が多かった。「堅い」では確実を表す「心」「言語」の意味の名詞の出現が多かった。共起する動詞の分析では、「固い」は関係が、結びつきが強く、簡単に変わらないという中心的な意味を持ち、「作用」「心」「生活」の意味の語の出現が多かった。「硬い」は外力に強く、形・性質が簡単に変わらないという中心的な意味を持ち、「身体」「物品」「心」の意味の語の出現が多かった。「堅い」は信用できる、気持ちが変わらないという中心的な意味を持ち、「交わり」「言語」「作用」の意味の語の出現が多かった。「かたい」では日常生活に関係ある行為の「作用」「生活」「心」の意味の動詞の出現が多かった。共起する名詞・動詞を考察すると、「固い」は関係がしっかりしている、結びつきが強いという意味で、「硬い」は物が物理的に強い、物の状態・性質がより強く変化するという意味で、「堅い」は信念・意思・気持ちがしっかりしているという意味で用いられる傾向があるということが分かった。

# 目次

[はじめに 4](#_Toc70519130)

[第1章　先行研究の検討 8](#_Toc70519131)

[第2章　資料と方法 13](#_Toc70519132)

[2.1．資料 13](#_Toc70519133)

[2.2．方法 15](#_Toc70519134)

[第3章　分析と考察 17](#_Toc70519135)

[3.1．レジスターに基づく分析 17](#_Toc70519136)

[3.2．【かたい】と共起する名詞―「名詞＋が＋【かたい】」の形式 19](#_Toc70519137)

[3.2.1．「かたい」と共起する名詞 19](#_Toc70519138)

[3.2.2．「固い」と共起する名詞 20](#_Toc70519139)

[3.2.3．「硬い」と共起する名詞 22](#_Toc70519140)

[3.2.4．「堅い」と共起する名詞 23](#_Toc70519141)

[3.2.5．分析のまとめ考察 24](#_Toc70519142)

[3.3．【かたい】と共起する名詞―「【かたい】＋名詞」の形式 30](#_Toc70519143)

[3.3.1．「かたい」と共起する名詞 30](#_Toc70519144)

[3.3.2．「固い」と共起する名詞 32](#_Toc70519145)

[3.3.3．「硬い」と共起する名詞 35](#_Toc70519146)

[3.3.4．「堅い」と共起する名詞 37](#_Toc70519147)

[3.3.5．分析のまとめ考察 38](#_Toc70519148)

[3.4．【かたい】共起する動詞―「【かたく】＋動詞」の形式 45](#_Toc70519149)

[3.4.1．「かたい」と共起する動詞 46](#_Toc70519150)

[3.4.2．「固い」と共起する動詞 47](#_Toc70519151)

[3.4.3．「硬い」と共起する動詞 48](#_Toc70519152)

[3.4.4．「堅い」と共起する動詞 49](#_Toc70519153)

[3.2.5．分析のまとめ考察 50](#_Toc70519154)

[結論 56](#_Toc70519155)

[参考文献 57](#_Toc70519156)

[参考資料 57](#_Toc70519157)

# はじめに

近年、ベトナムと日本は、文化の面でも経済の面でも深く関わっている。文化の面では2018年の日越外交関係樹立45周年で、ハノイ・日本文化交流祭や日越音楽祭などの多くの事業がおこなわれた。2016年9月には日越大学修士コースが開設された。日本の大学もベトナムでの拠点を設立し、2014年には41件である。スポーツについても、2014年に本サッカー協会（ＪＦＡ）と越サッカー連盟（ＪＦＦ）のパートナーシップ関係を締結した。経済の面では、2017年末時点での累計投資認可額[[1]](#footnote-1)は495億ドルで、4年ぶりに金額1位である。また、2017年の貿易は中国、アメリカ、韓国に次いで第4位の334億ドルの輸出入金額である。

両国の関係が深くことにより、日本で暮らすベトナム人の数は増えてきている。独立行政法人日本学生支援機構[[2]](#footnote-2)によると、2019年度にはベトナム人留学生は73,389人であり、去年度に比べて、1,035人増えた。

そして、日本語を勉強するベトナム人の数も増えてきている。国際交流基金によると、2012年にはベトナム人日本語学習者は46,762人であり、2015年には64,863人で8位である。そして、2018年にはこの人数は174,521人であり、圧倒的に2015年の調査結果の169.1%まで増え、6位に上った。

日本語学習者にとって、一番難しいのは漢字である。2010年11月に文化庁により告示された『常用漢字表』[[3]](#footnote-3)には2,136字が掲載されている。また、日本語学力テスト「NAT-TEST」では、2級は約1,100字、１級は約1,850字が試験の範囲に含まれている。このような大量の漢字を覚えなければならないだけでなく、「喋」（しゃべ・る）、「叶」（かな・う）、「嘘」（うそ）、などの常用漢字表には含まれていない漢字でも実際に使用されており、日本語学習者にとって困難である。それは々ベトナム人日本語学習者にとっても同様である。

一つの漢字は複数の音読みと訓読み[[4]](#footnote-4)が存在し、勉強するにはそれらを覚えなければならない。例えば、よく見かけている「後」は、［ご・ごう］［うしろ・あと・のち］という5つの読みを備え、覚えて適切に使えることは困難である。

日本語では音素が少ないため、複数の漢字に対し同じ訓読みがあることが存在する。大量の漢字を覚えるのが大変だが、その同訓の漢字の表記もは悩ましい問題である。たとえば、辞書で「アシ」を調べてみると、同じ読みで意味が類似し漢字が違う「脚」と「足」が立項されている。このような問題は、一般的に「異字同訓」と呼ばれる。

まずは、異字同訓の定義を確認する。

沖森は、異字同訓について、「字義が相異なり、その用法も相違する漢字が訓を同じくする場合を『異字同訓』と呼ぶ」（沖森　2014、p.9）と述べている。同時に、異字同訓として扱われない例外も挙げている。

（A）品詞が違う場合

* さる……「去る」と「猿」
* こおる・こおり……「凍る」と「氷」

（B）同じ品詞でも、意味が異なる場合

* み……「三」と「身」と「実」
* はな……「花・華」と「鼻」
* はなす……「放す・離す」と「話す」

（C）同じ品詞でも、語の性質が異なる場合

* さける……「避ける」と「咲ける」
* へる……「減る」と「経る」
* いける……「生ける」と「行ける」
* かっ（て）……「買／飼っている」と「刈っている」

（沖森　2014、p.10-12）

つまり、以上の例外は異字同訓ではないということである。

また、沖森は書き分けの問題について、1948年公表された「当用漢字音訓表」には音読み・訓読みの使用に関しては示されたが、同じ語に複数の漢字が対応する場合もあるた  
め、「使い分けに一定の指針が求められるようになった」（沖森　2014、p.13）と述べている。そのため、1972年に『「異字同訓」の漢字の用法』、そして2010年に『「異字同訓」の漢字用法例（追加字種・追加音訓関連）』が公表された。2014年に、文化審議会国語分科会によりこの2点の文献を統合し整理し、『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』を発表した（沖森　2014、p.13）。

『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』には、常用漢字表に示された同訓の漢字133組が挙げられている。例えば、「あし【足】・【脚】」や「きく【聞く】・【聴く】」などである。ただし、「同訓の関係にあっても、一方が常用漢字表にない訓である場合は取り上げ」られていない（文化審議会国語分科会　2014、p.2）、つまり使い分け例表に含まれていない。また、『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』の前書きには以下のように記述されている。

同訓の漢字の使い分けに関しては、明確に使い分けを示すことが難しいところがあることや、使い分けに関わる年代差、個人差に加え、各分野における表記習慣の違い等もあることから、ここに示す使い分け例は、一つの参考として提示するものである。したがって、ここに示した使い分けとは異なる使い分けを否定する趣旨で示すものではない。また、この使い分け例は、必要に応じて、仮名で表記することを妨げるものでもない。

（文化審議会国語文学会　2014、p.2）

つまり、報告に示された「使い分け例は、一つの参考」であって、強制力をもった規則ではないということである。これは「仮名で表記することを妨げるものでもない」と書かれていることにも通じている[[5]](#footnote-5)。ただし、どのような場合に仮名で表記してよいのかは明らかにされていない。

一方で山田は、異字同訓の問題について「字形」「音形」「意味」の3項目の関係として整理している。すなわち字形が異なり音形が同じで意味が類似している語が異字同訓として書き分けの問題があるのである（山田　2014、p.14-15）。そして、例として山田は［作る／造る］、［長い／永い］を挙げている。一方で山田は、字形が異なり音形が同じで意味が非類似の語を「異字同音異義」として（山田　2014、p.14)、異字同訓とは区別している。

しかし、異字同訓は、語の認定の問題に関連し、単純ではない。語の認定の問題とは、小椋によると語の長さの問題と語の幅の問題である。語の長さの問題とは、日本語では分かち書きをしないため、何が1つの語か、どこで区切りをするのかは明確ではないということである（小椋　2020、p4-5）。一方、語の幅の問題とは、［書く／書か（ない）／書き（ます）／書い（た）］や［やはり／やっぱり／やっぱ］などはそれぞれ同一の語として扱うか、別の語として扱うか、ということである（小椋　2020、p4-5）。こうして、異字同訓は語の幅の問題に関連している。例えば、「足」と「脚」は同じ語であるが表記が異なると考えれば多義語にかかわる現象と考えられる。一方で「足」と「脚」は別の語であると考えれば類義語にかかわる現象とも考えられる。実際に辞書の見出しを見てみると、『角川新国語辞典　初版発行』には「暑い」と「熱い」は別に立項されている。つまり、『角川新国語辞典』は「暑い」と「熱い」は別の語として見なされているということである。しかし、この場合は「暑い」と「熱い」の意味が類似している。

【暑い】  
気温が高い。「―・い日」  
【熱い】  
①（特に固体・液体の）温度が非常に高い。「湯が―・い」  
②感情が高ぶっている。激しい。「―・い論戦」  
③（異性を）夢中で愛している。熱烈だ。「お―・い仲」

（『角川新国語辞典』）

「暑い」と「熱い」は、「温度が高い」という点において意味が共通しているが、使用対象や使用範囲という点において異なっている。つまり『角川新国語辞典』によると「暑い」と「熱い」は類義語の関係にあると言えるのである。

本研究では、山田の定義に従い、異字同訓を多義語の意味に応じた使い分けの問題として考えて、【かたい】を事例にして研究を行う。本研究における【かたい】とは語形を意味する。すなわち音形を意味し、さまざまな表記を包括するものである。本研究において、【かたい】は「かたい」「固い」「硬い」「堅い」の4つの表記を含む。

ここで、本研究の目的を2点挙げる。1点目は「固い」「硬い」「堅い」を事例に、どのような場面で仮名の表記が使用されるのかを明らかにすることである。2点目は「固い」「硬い」「堅い」が共起する語を分析することを通じて、「固い」「硬い」「堅い」の意味の違いと使い分けを明らかにすることである。

本論文は、4章にわたって論を進める。

第1章では、先行研究として、辞書の【かたい】の意味の記述を検討し、問題点を指摘する。

第2章では、収集した資料と研究方法について述べる。

第3章では、分析と考察を行う。第3章第1節では【かたい】が使用される場面を分析し、記述ごとに使用傾向を考察する。第3章第2節、第3節、第4節では【かたい】と共起する名詞・動詞を分析することを通じて、「かたい」「固い」「硬い」「堅い」の意味の違いと使い分けについて考察を行う。

最後に、結論と今後の課題を述べる。

本研究を通じて、「固い」「硬い」「堅い」の中心的な意味と使用傾向を明らかにし、異字同訓の混乱した状態を解決する一助となることを目指したい。

# 第1章　先行研究の検討

まずは、『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』の記述を確認する。『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』には、【かたい】について以下のような説明が書かれている。

かたい  
【堅い】中身が詰まっていて強い。確かである。  
堅い材木。堅い守り。手堅い商売。合格は堅い。口が堅い。堅苦しい。  
【固い】結び付きが強い。揺るがない。  
団結が固い。固い友情。固い決意。固く信じる。頭が固い。  
【硬い】（⇔軟らかい）。外力に強い。こわばっている。  
硬い石。硬い殻を割る。硬い表現。表情が硬い。選手が緊張で硬くなっている。

（『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』）

『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』では【かたい】の3つの表記「固い」「硬い」「堅い」の解説が簡単に記述され、用例が挙げられているが、その解説と用例が合わないように見える。例えば、「堅苦しい」とは気楽でなく、フォーマルし過ぎるという意味で、解説に関係がないように見える。また、挙げられている用例以外には、全体的に表記ごとと共にどのような語が使用されているかは明らかにしていない。

『三省堂現代新国語辞典　第十刷発行』には【かたい】は以下のように記述されている。『三省堂現代新国語辞典』には「固い」、「硬い」、「堅い」は別の語として扱われ別に立項されている。

かた・い  
【固い】〈形〉  
①（水分が少なく）中身がしまっていて、形がかんたんには変わらない。  
「―餅・粉を固く練る」  
⇔柔らかい  
②しっかりしていて、かんたんにはくずれない。  
「―団結・―約束」  
⇔もろい  
③気持ちがしっかりしていて変わらない。  
「決意が―・固く信じる」  
④すきまがなくて、かんたんには動かない（・ほどけない）。  
「障子が―・―結び目」  
⑤しっかり力がこもっている。  
「固くだきしめる・―握手」  
⑥きびしい。  
「固いましめる」  
⑦たしかだ。まちがいない。  
「合格は―」  
⑧融通がきかない。がんこだ。  
「頭が―」  
固くなる：緊張しすぎて身体や気持ちがこわばる。「あまり―な」  
【硬い】〈形〉  
①［金属・石などについて］力を加えても、まがったりへこんだりしない。  
「―宝石」  
②よく練れていない。  
「―表現」  
③こわばっている。  
「表情が―」  
⇔軟らかい・柔らかい  
【堅い】〈形〉  
①［材木などについて］力を加えても、まがったりへこんだりしない。  
「―材質」  
⇔柔らかい  
②守りがしっかりしている。  
「城の守りが―」  
⇔もろい  
③手がたい。堅実だ。  
「―商売」  
④ましがないくて信用できる。  
「―店」  
⑤まじめて、義理がたい。  
「―人間」  
⑥かたくるしい。  
「―話・―ことばかり言う・堅く考えなくてよい」

（『三省堂現代新国語辞典』）

つまり、「固い」には8個の意味があり、「硬い」には3個の意味があり、「堅い」には6個の意味があるということである。詳細に意味が分類されているが、中心的な意味が分かりにくい。また、「固い」の1個目の意味と「硬い」の1個目の意味が重複し、「固い」の7個目の意味と「堅い」の4個目の意味が同じく「間違いがない」、重複するように見える野である。

『学研現代新国語辞典　改訂第三版』には「かたい」は以下のように記述されている。

かた・い【堅い・固い・硬い】《形》  
①物が、力を加えられても容易に形をかえない性質である。質が強くじょうぶである。  
「―・い気の実」「―・い鉄の箱」  
［参考］音・声などが重く強い意にも使う。  
「金属と石のぶつかる―・い音」  
⇔やわらかい  
②きっちりとしていて、すきまがない。堅固である。  
「唇を―・く閉じる」「守りが―・い」  
③動作・顔つきなどに柔らかみがない。こわばっている。  
「―・くなって返事をする」  
④心の状態や言行が容易に変わらない。  
「―・く決心する」「―・い約束」  
⑤身持ちがたしかである。実直である。  
「身を―・く守る」  
⑥がんこで融通がきかない。かたくなである。  
「頭が―・い」  
⑦物事が確実である。堅実である。  
「合格は―・い」「―・い商売」  
⑧厳格である。きびしい。〔副詞的に使う〕  
「―・くお断りいたします」  
⑨ふざけたところがない。まじめである。  
「―・い本を読む」  
⇔やわらかい  
文：かた・し《く》  
【使い分け】  
『堅い』  
〔質がしまって割れにくく、折れにくい。堅実。確実〕  
堅い材木・堅いつぼみ・堅焼き。音意志が堅い・口が堅い・義理堅い・優勝は堅い・手堅く得点する  
『固い』  
〔城壁を守るように、外から侵すことのできぬほど強くかたい〕  
地盤が固い・固く団結する・固く辞退する・口を固く閉さす・守りが固（堅）い・決意が固い・固い握手・頭が固い  
『硬い』  
〔「軟」の対。石のように、たやすく砕けたり裂けたりしない〕  
硬い玉・硬い髪・表情［態度］が硬い・体［皮肩］が硬い・硬さがほぐれる・硬い文章・話が硬い

（『学研現代新国語辞典』）

『学研現代新国語辞典』では「固い」「硬い」「堅い」は1つの語として見なされ記述されている。3つの表記の使い分けが記述されているが、「かたい」が記述されていない。実際に「かたい」の表記が使用されている一方で辞書に書かれていないことで、具体的に「かたい」はどのような場面で使用されるかは明らかにしていない。

上記した問題に加え、記述の統一の問題が挙げられる。確かに各辞書には細かい解説が記述されていたり代表的に記述されていたりしているが、辞書の解説、特に漢字の使い分けの解説が統一ではないため、日本語学習者にとって理解しにくく困難である。また、【かたい】という語の認定、つまり「固い」「硬い」「堅い」が類義語か、それとも【かたい】という語が多義語かは辞書によって異なるため、学習者は【かたい】の語の本質は見えなくなる問題が起きる。さらに、ひらがなの表記、つまり「かたい」の使い分けが記述されていないため、「かたい」がどの場面で使用されるのかを理解しにくい。

以上挙げた問題の根源は、辞書は著者の主観的な考えで記述されたもので、人によって考え方が異なることによって、辞書の記述も異なっているだからであると言える。

一方で、コーパスは異なっている。斎藤・田口・西村はコーパスについて以下のように記述している。

言語テクストの集合体をコーパス（corpus、複数形はcorpora）と呼ぶ。一般的には、実際に使用された話しことば・書きことばを、ある言語や言語変種を代表となるように集め、コンピュータ上で検索可能にしたものを指す。

（斎藤・田口・西村　2015、p.89）

また、コーパスを利用することで得られる利点については、斎藤・田口・西村は以下のよう説明しているに。

母語話者は文の容認性については判断できても、どのような表現や典型的であるか言いあてることができなかったり、作例として思いつく範囲に限界があるために偏ったデータから一般化がなされたりするからである。それに対して、コーパスを用いると、特定のバイアスに左右されずに、用例を集めることができ、検索語句の生起環境や共起語の頻度をもとに言語実態に即した記述をすることが可能となる。

（斎藤・田口・西村　2015、p.89）

つまり、コーパスを使うことによって、母語話者である辞書の著者の主観的な考えに左右されず、客観的な言語の研究が可能になるということである。さらに、李・石川・砂川によると、コーパスは代表性と大規模性を備えている持っている。代表性とは「元となる言語に含まれる多様なデータを均衡的に収集する」（李・石川・砂川　2018、p.2）ことでコーパスがその言語を代表することである。大規模性とは、「大規模なデータがあれば、低頻度の語や文法項目についても、より信頼性が高い分析が可能」（李・石川・砂川　2018、p.2）ということである。

したがって、本研究ではコーパスを活用して、「固い」「硬い」「堅い」を事例に、異字同訓の使い分け問題の客観的な研究を目指す。

# 第2章　資料と方法

## 2.1．資料

本研究では、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（以下BCCWJとする）を利用して、コーパスからデータを抽出して分析する。データの抽出には、コーパス検索アプリケーション『中納言』を用いた。「短単位検索[[6]](#footnote-6)」を用いて、検索条件は以下のように設定した。

1．「名詞＋が＋【かたい】」の形式  
「『キー』が　品詞　の　大部分　の　名詞」  
「（キーから1語後）語彙素　が　『が』」  
「（キーから2語後）語彙素　が　『固い』[[7]](#footnote-7)」  
2．「【かたい】＋名詞」の形式  
「『キー』が　品詞　の　大部分　の　名詞」  
「（キーから1語前）語彙素　が　『固い』」  
　「活用形　が　『連体形』」  
3．「【かたく】＋動詞」の形式  
「『キー』が　品詞　の　大部分　の　動詞」  
「（キーから1語前）語彙素　が　『固い』」  
　「活用形　が　『連用形』」

これらの条件を設定した理由は、【かたい】は形容詞であり、主に以下のような活用形式がある。

「名詞＋が＋【かたい】」（形容詞として述語になる）  
「【かたい】＋名詞」（形容詞として名詞を修飾する）  
「【かたく】＋動詞」（副詞として動詞を修飾する）

以上の活用形式に従い、検索条件を設定した。

抽出したデータは以下の表1で示する。

表1：全部のデータ

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 名詞＋が＋ 【かたい】 | 【かたい】＋ 名詞 | 【かたく】＋ 動詞 | 総計 |
| かたい | 60 (10.38%) | 218 (12.54%) | 271 (16.01%) | 549 (13.70%) |
| 固い | 209 (36.16%) | 542 (31.19%) | 755 (44.59%) | 1,506 (37.57%) |
| 硬い | 235 (40.66%) | 621 (35.73%) | 483 (28.53%) | 1,339 (33.40%) |
| 堅い | 74 (12.80%) | 357 (20.54%) | 182 (10.75%) | 613 (15.29%) |
| 牢い | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (0.06%) | 1 (0.02%) |
| 緊い | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (0.06%) | 1 (0.02%) |
| **総計** | **578 (100%)** | **1,738 (100%)** | **1,693 (100%)** | **4,009 (100%)** |

「名詞＋が＋【かたい】」の形式については、「かたい」は60回、「固い」は209回、「硬い」は235回、そして「堅い」は74回使用うされ、合計578件である。

「【かたい】＋名詞」の形式については、「かたい」は218回、「固い」は542回、「硬い」は621回、そして「堅い」は357回使用され、合計1,738件である。

「【かたく】＋動詞」の形式については、「かたい」は271回、「固い」は755回、「硬い」は483回、「堅い」は182回、そして「牢い」「緊い」はそれぞれ1回使用され、合計1,693件である。

ところが、データを詳しく検討すると、いくつかのエラーが混ざっていたため、修正を行った。具体的には、以下に記述する。

「名詞＋が＋かたい」の形式のデータには、以下のような用例が含まれていた。

（1）「誰だ？　誰かいるのか？」　岩田勝也がそう言った直後、大きな音がした。ガラスが固いもの[[8]](#footnote-8)で割られる音だった。　そのときに、岩田勝也はすぐさま逃げ出して、助けを求めるべきだった。

（BCCWJ、LBf9\_00071、『怒りの神拳』祥伝社、1991）[[9]](#footnote-9)

前後文脈を読むと分かるように、「ガラスが固い」ではなく「ガラスが『固いもの』で割られる」という意味で、つまり「名詞＋が＋【かたい】」の形式ではなく、「【かたい】＋名詞」の形式である。さらに、このようなサンプルは「かたい＋名詞」の形式のデータにも含まれている。そのため、このような用例は「名詞＋が＋【かたい】」の形式のデータから除外する。

また、「かたく＋動詞」の形式のデータには「牢い」の表記が1件（0.06%）、「緊い」の表記が1件（0.06%）含まれていた。

（2）支那でも、「生平いまだ女色に近づかざる者あり。陰物はこれ何なる様範なるかを知らず。人に向かってこれを問う。人いわく、すなわち一隻の眼睛を豎に起てるに像たものすなわちこれなり、と。この人牢く記して心にある。一日、嫖興たちまち発す。妓館のいずこにあるかを知らざれば、ついに街頭に向かって間歩す。一眼科の招牌の上に、眼の様を数隻か画き、たまたま横放しにしたるに撞見う。

（BCCWJ、LBf0\_00006、『南方熊楠コレクション』河出書房新社、1991）

用例を見ると分かるように、書物の出版年が古い。『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』には、「牢い」「緊い」は記述されておらず常用漢字表にも含まれていない。常用漢字でなく、使用回数もそれぞれ1回だけで少ないため、「牢い」「緊い」の表記を除外する。

以上のように、エラーを除外した後の、以下のデータを研究対象とする（表2）。

表2：修正したデータ（研究対象）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 名詞＋が＋ 【かたい】 | 【かたい】＋ 名詞 | 【かたく】＋ 動詞 | 総計 |
| かたい | 35 (10.51%) | 195 (12.29%) | 271 (16.03%) | 501 (13.87%) |
| 固い | 122 (36.64%) | 498 (31.38%) | 755 (44.65%) | 1,375 (38.08%) |
| 硬い | 122 (36.64%) | 578 (36.42%) | 483 (28.56%) | 1,183 (32.76%) |
| 堅い | 54 (16.21%) | 316 (19.91%) | 182 (10.76%) | 552 (15.29%) |
| **総計** | **333 (100%)** | **1,587 (100%)** | **1,691 (100%)** | **3,611 (100%)** |

「名詞＋が＋【かたい】」の形式については、「かたい」は35回、「固い」は122回、「硬い」は122回、そして「堅い」は54回使用うされ、合計333件である。

「【かたい】＋名詞」の形式については、「かたい」は195回、「固い」は498回、「硬い」は578回、そして「堅い」は316回使用され、合計1,587件である。

「【かたく】＋動詞」の形式については、「かたい」は271回、「固い」は755回、「硬い」は483回、そして「堅い」は182回使用され、合計1,691件である。

## 2.2．方法

本研究では、【かたい】を異字同訓として、各表記「固い」「硬い」「堅い」の使い分けを明らかにするため、中納言を利用してBCCWJから抽出したデータにより用例のレジスター及び共起する動詞・名詞の性質について計量的な分析を行う。

まずは、BCCWJには以下のレジスターが設定されている。

* 出版：新聞、書籍、雑誌
* 図書館：書籍
* 特定目的：ブログ、ベストセラー、国会会議録、広報紙、教科書、白書[[10]](#footnote-10)、知恵袋[[11]](#footnote-11)、韻文[[12]](#footnote-12)

一般的には、文章のジャンルによって言葉遣いが異なっている。例えば、新聞や法律的な文章ではフォーマルで、かたい書きことばを使用されている。一方で、ブログなどの文章では日常生活に近く、言葉遣いももっとやわらかく、話し言葉的なことばが使用されている。【かたい】は4つの表記があり、先行研究を検討するとそれぞれの意味の差があるように見えるわけで、文章のジャンルのよって表記の使い分けがあるではないかと予想される。

また、共起する名詞・動詞については、本研究では【かたい】と共起する名詞・動詞の意味の分類に基づいて分析する。意味分析は、『分類語彙表』[[13]](#footnote-13)にの分類に基づき行う。なお、『分類語彙表』に記述されていない語については、前後文脈によって判断し、意味の分類を行う。

さらに、山田は以下のように述べている。

明確に区別される語義については書き分けも意識的に行われ、語義区分が連続的で明確でない場合に、書き分けが定まらないようにも見えます。

（山田　2014、p.19）

つまり、それぞれの作家によって言葉遣いが異なる。その時、文やスタイルの意味や表現のニュアンスもこれに依存するため、【かたい】の3つの表記「固い」「硬い」「堅い」の使い方に差が生じると予想される。

# 第3章　分析と考察

## 3.1．レジスターに基づく分析

本節では、【かたい】の各表記が使用されているレジスターについて分析する。以下の表3は、【かたい】の4つの表記をレジスター別に分類した結果である。

表3：レジスター別の分類

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | かたい | 固い | 硬い | 堅い | **総計** |
| 出版・新聞 | 0 (0.00%) | 7 (25.00%) | 14 (50.00%) | 7 (25.00%) | **28 (100%)** |
| 出版・書籍 | 132 (11.50%) | 410 (36.00%) | 439 (38.54%) | 159 (13.96%) | **1,139 (100%)** |
| 出版・雑誌 | 22 (12.23%) | 47 (26.11%) | 80 (44.44%) | 31 (17.22%) | **180 (100%)** |
| 図書館・書籍 | 221 (16.90%) | 546 (41.78%) | 304 (23.26%) | 236 (18.06%) | **1,307 (100%)** |
| 特定目的・ブログ | 14  (6.25%) | 83 (37.05%) | 85 (37.95%) | 42 (18.75%) | **224 (100%)** |
| 特定目的・ベストセラー | 27 (12.62%) | 121 (56.54%) | 44 (20.56%) | 22 (10.28%) | **214 (100%)** |
| 特定目的・国会会議録 | 28 (93.33%) | 2  (6.67%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | **30 (100%)** |
| 特定目的・広報紙 | 1 (1.78%) | 38 (67.86%) | 10 (17.86%) | 7 (12.50%) | **56 (100%)** |
| 特定目的・教科書 | 25 (64.10%) | 4 (10.26%) | 10 (25.64%) | 0 (0.00%) | **39 (100%)** |
| 特定目的・白書 | 0 (0.00%) | 1 (25.00%) | 0 (0.00%) | 3 (75.00%) | **4 (100%)** |
| 特定目的・知恵袋 | 22 (6.21%) | 102 (28.81%) | 188 (53.12%) | 42 (11.86%) | **354 (100%)** |
| 特定目的・韻文 | 10 (27.78%) | 14 (38.89%) | 9 (25.00%) | 3 (8.83%) | **36 (100%)** |

表3によると、「特定目的・国会会議録」では「かたい」の比率が非常に高く、93.33%である。同じく「特定目的・教科書」では「かたい」の比率が高く、で64.10%である。一方で、「特定目的・広報紙」では「固い」の比率が一番高く、67.86%である。また、「特定目的・知恵袋」では「硬い」が53.12%を占めている一方で、「かたい」が6.21%を占め、使用頻度が非常に低い。同じように「特定目的・ブログ」では「かたい」が6.25%を占め、使用頻度が低い。

「特定目的・国会会議録」では、全部30件の中に「かたい」の表記が28回まで使用され(93.33%)、頻度が非常に高い。「国会会議録」は記録形の文章であるため、現場で発言する人と記録する人は別の人である。「かたい」と聞いた記録者は、発言者がどの表記の【かたい】を意図して発言したのかが分からないため、ひらがなの表記で記録したと思われる。

「特定目的・教科書」では、「かたい」の表記の使用頻度が25回（64.10%）である。以下のような用例が挙げられる。

（3）４億年前を過ぎると，化石がたくさん見つかるようになる。カルシウムを含むかたい殻をもつ生物が出現したためである。そして生物の種類も多くなる。現在の動物に似た化石以外に，さまざまな形の動物の化石が見つかっている。

（BCCWJ、OT23\_00026、『新編理科総合Ｂ』東京書籍株式会社、2006）

（4）大豆は、ダイズという植物のたねです。えだについたさやの中に、二つか三つのたねが入っています。ダイズが十分に育つと、さやの中のたねはかたくなります。これが、わたしたちが知っている大豆です。かたい大豆は、そのままでは食べにくく、消化もよくありません。そのため、いろいろ手をくわえて、おいしく食べるくふうをしています。

（BCCWJ、OT01\_00015、『国語　三下　あおぞら』光村図書出版株式会社、2006）

用例（3）は科学教科書『新編理科総合Ｂ』に記述されている。科学教科書のことで注目すべきことは漢字の表記ではないためひらがなの表記で記述されたと思われる。また、用例（4）は小学生3年生用教科書『国語　三下　あおぞら』に記述されている。小学3年生は「固い」「硬い」「堅い」いずれもまだ習っていない[[14]](#footnote-14)。「かたい」読めないためここでひらがなの表記で記述されてと思われる。

「特定目的・広報紙」では、「固い」の表記が38回（67.86%）である。広報紙とは、ある政府・団体・自治体が不特定多数の人々に向けて、自分の活動を紹介する書物である。「デジタル大辞泉」の記述によると、「『固い』が広く使用され」ている（小学館、2020年12月閲覧）。よって、広報紙では「固い」が最もよく使用されていると思われる。

「特定目的・知恵袋」では使用頻度が一番高いのは「硬い」（53.12%）、「固い」で28.81%も低くないのに対して、「かたい」の使用頻度が6.21%で非常に低い。同じように、「特定目的・ブログ」では「かたい」が同じ程度で、6.25%を占めている。ち知恵袋やブログはウエブサイト形であり、パソコンやスマートフォンを使って書き込む。パソコンなどでは漢字の変換が容易にできるので、意味に応じて適切な表記を選ぶことが可能である食べ漢字の表記を使うようになる。よって、「特定目的・知恵袋」と「特定目的・ブログ」では「かたい」が使用されることが少ないと思われる。

## 3.2．【かたい】と共起する名詞―「名詞＋が＋【かたい】」の形式

本節では、【かたい】と共起する名詞の分析を行う。具体的には【かたい】が形容詞としての述語として用いられる「名詞＋が＋【かたい】」の使用形式を分析対象とする。

まずは、「名詞＋が＋【かたい】」という形式で、【かたい】と共起する名詞上位10位を以下の表4で示す。

表4：【かたい】と共起する名詞上位10位

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 1位 | 口 3 (8.57%) | 頭 22 (18.81%) | 体 30 (24.59%) | 口 11 (20.37%) |
| 2位 | 体 3 (8.57%) | 結束 9 (7.44%) | 表情 6 (4.92%) | ガード 5 (9.26%) |
| 3位 | バター 2 (5.71%) | 口 8 (6.61%) | 子宮 6 (4.92%) | 皮 3 (5.56%) |
| 4位 | 目 2 (5.71%) | ガード 8 (6.61%) | 骨 5 (4.10%) | 守り 3 (5.56%) |
| 5位 | 表面 2 (5.71%) | 体 4 (3.31%) | 便　　 4 (3.28%) | 茎 2 (3.70%) |
| 6位 | 頭 2 (5.71%) | 便 4 (3.31%) | 皮 4　(3.28%) | 紐 2 (3.70%) |
| 7位 | ガード 1 (2.86%) | 意思 4 (3.31%) | シート 3 (2.46%) | 地盤 2 (3.70%) |
| 8位 | 体制 1 (2.86%) | 決心 4 (3.31%) | 筋 3 (2.46%) | 手 2 (3.70%) |
| 9位 | 便 1 (2.86%) | 蕾 3 (2.48%) | 関節 3 (2.46%) | 選手 2 (3.70%) |
| 10位 | 固まり 1 (2.86%) | 団結 2 (1.65%) | 肉 2 (1.64%) | 体 1 (1.85%) |

表4によると、「名詞＋が＋【かたい】」という形式において、【かたい】とよく共起する名詞は「口」「体」「頭」などの身体部位をあらわす名詞である。「固い」と一番よく共起する名詞は「頭」で、全体の18.81%を占めている。「頭」に続いて「結束」とも共起し、7.44%を占めている。一方で、「硬い」は「体」とよく共起し、24.59%を占めている。「体」に続いては「表情」（4.92%）、「子宮」（4.92%）、「骨」（4.10%）である。そして、「堅い」は「口」の名詞と共起し、20.37%を占めている。

### 3.2.1．「かたい」と共起する名詞

本項から、【かたい】の各表記が「名詞＋が＋【かたい】」という形式においてどのような名詞と共に用いられるのか、名詞の意味に着目して詳しい分析を行う。名詞の意味を分析する際には『分類語彙表』の分類に従う。

まずは、「かたい」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表5に示す。

表5：「かたい」と共起する名詞の意味（部門）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 7 (25.93%) | 8 (22.86%) | 表面 (2)、肉質 (1)、結束 (1)、固まり (1) |
| 主体 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |  |
| 活動 | 2 (7.41%) | 2 (5.71%) | ガード (1)、意志 (1) |
| 生産物 | 6 (22.22%) | 7 (20.00%) | バター (2)、引き出し (1)、枕 (1) |
| 自然 | 12 (44.44%) | 18 (51.43%) | 体 (3)、口 (3)、頭 (2)、目 (2)、野菜 (1) |
| **総計** | **27 (100%)** | **35 (100%)** |  |

表5によると、「自然」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で44.44%、延べ語数で51.43%を占めている。「自然」の意味の名詞は種類だけでなく、使用回数も多いということである。

次に、「かたい」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表6に示す。

表6：「かたい」と共起する名詞の意味（中項目）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 様相 | 3 (11.11%) | 3 (8.57%) | 体制 (1)、性格 (1)、肉質 (1) |
| 作用 | 1 (3.70%) | 1 (2.86%) | 結束 (1) |
| 空間 | 1 (3.70%) | 2 (5.71%) | 表面 (2) |
| 形 | 2 (7.41%) | 2 (5.71%) | 固まり (1)、結び (1) |
| 心 | 1 (3.70%) | 1 (2.86%) | 意志 (1) |
| 交わり | 1 (3.70%) | 1 (2.86%) | ガード (1) |
| 物品 | 1 (3.70%) | 1 (2.86%) | 肉質 (1) |
| 資材 | 1 (3.70%) | 1 (2.86%) | 紐 (1) |
| 衣料 | 2 (7.41%) | 2 (5.71%) | 枕 (1)、袖口 (1) |
| 食料 | 1 (3.70%) | 2 (5.71%) | バター (2) |
| 道具 | 1 (3.70%) | 1 (2.86%) | 引き出し (1) |
| 植物 | 2 (7.41%) | 2 (5.71%) | 葉 (1)、野菜 (1) |
| 身体 | 10 (37.04%) | 16 (45.71%) | 体 (3)、口 (3)、目 (2)、頭 (2)、白身 (1) |
| **総計** | **27 (100%)** | **35 (100%)** |  |

表6によると、「身体」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で37.04%、延べ語数で45.71%を占めている。「身体」の意味の名詞は種類だけでなく、使用回数も多いということである。

### 3.2.2．「固い」と共起する名詞

次に、「固い」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析す  
る。分析結果を以下の表7に示す。

表7：「固い」と共起する名詞の意味（部門）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 5 (8.93%) | 13 (10.74%) | 結束 (9)、下 (1)、地面 (1)、肉質 (1) |
| 主体 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |  |
| 活動 | 13 (23.21%) | 30 (24.79%) | ガード (8)、意志 (5)、決心 (4)、表情 (2) |
| 生産物 | 15 (26.79%) | 16 (13.22%) | 肉 (2)、麺類 (1)、御飯 (1)、ソース (1) |
| 自然 | 23 (41.07%) | 62 (51.24%) | 頭 (22)、口 (8)、蕾 (3)、指 (2)、殻 (2) |
| **総計** | **56 (100%)** | **121 (100%)** |  |

表7によると、「自然」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で40.35%、延べ語数で51.24%を占めている。「自然」の意味の名詞は種類だけでなく、使用回数も多いということである。

次に、「固い」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表8に示す。

表8：「固い」と共起する名詞の意味（中項目）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 様相 | 1 (1.79%) | 1 (0.83%) | 肉質 (1) |
| 作用 | 2 (3.57%) | 10 (8.26%) | 結束 (9)、統一 (1) |
| 空間 | 2 (3.57%) | 2 (1.65%) | 下 (1)、地面 (1) |
| 心 | 7 (12.50%) | 16 (13.22%) | 意志 (5)、決心 (4)、決意 (2)、表情 (2) |
| 言語 | 3 (5.36%) | 3 (2.48%) | 文体 (1)、言葉 (1)、言葉遣い (1) |
| 交わり | 3 (5.36%) | 11 (9.09%) | ガード (8)、団結 (2)、防備 (1) |
| 資材 | 1 (1.79%) | 1 (0.83%) | 紐 (1) |
| 衣料 | 3 (5.36%) | 3 (2.48%) | グローブ (1)、ベッド (1)、もんぺ (1) |
| 食料 | 7 (12.50%) | 8 (6.61%) | 肉 (2)、ソース (1)、御飯 (1)、麺類 (1) |
| 住居 | 2 (3.57%) | 2 (1.65%) | シート (1)、椅子 (1) |
| 道具 | 2 (3.57%) | 2 (1.65%) | シャワーヘッド (1)、蓋 (1) |
| 物質 | 2 (3.57%) | 3 (2.48%) | 雪 (2)、岩盤 (1) |
| 植物 | 5 (8.93%) | 7 (5.79%) | 蕾 (3)、冬芽 (1)、根 (1)、種 (1)、葉 (1) |
| 身体 | 16 (28.57%) | 52 (42.98%) | 頭 (22)、口 (8)、体 (4)、便 (4)、指 (2) |
| **総計** | **56 (100%)** | **121 (100%)** |  |

表8をによると、「身体」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で28.57%、延べ語数で42.98%を占めている。「身体」の意味の名詞は種類が多く、使用回数も多いということである。

### 3.2.3．「硬い」と共起する名詞

次に、「硬い」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析す  
る。分析結果を以下の表9に示す。

表9：「硬い」と共起する名詞の意味（部門）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 8 (13.33%) | 10 (8.20%) | 表面 (2)、動き (2)、方 (1)、状態 (1) |
| 主体 | 1 (1.67%) | 1 (0.82%) | グリーン (1) |
| 活動 | 3 (5.00%) | 8 (6.56%) | 表情 (6)、態度 (1)、笑顔 (1) |
| 生産物 | 14 (23.33%) | 18 (14.75%) | シート (3)、肉 (2)、革 (2)、底 (1) |
| 自然 | 34 (56.67%) | 85 (69.67%) | 体 (27)、子宮 (6)、骨 (5)、皮 (4) |
| **総計** | **60 (100%)** | **122 (100%)** |  |

表9をによると、「自然」の意味の名詞が圧倒的に多く、異なり語数で56.67%、延べ語数で69.67%を占めている。「自然」に続いて、「生産物」の意味の名詞が2番目多く、異なり語数で23.33%、延べ語数で14.75%を占めている。

次に、「硬い」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表10に示す。

表10：「硬い」と共起する名詞の意味（中項目）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 様相 | 2 (3.33%) | 2 (1.64%) | 状態 (1)、肉質 (1) |
| 作用 | 1 (1.67%) | 2 (1.64%) | 動き (2) |
| 空間 | 4 (6.67%) | 5 (4.10%) | 表面 (2)、底 (1)、底面 (1)、辺り (1) |
| 形 | 1 (1.67%) | 1 (0.82%) | 端 (1) |
| 人物 | 1 (1.67%) | 1 (0.82%) | グリーン (1) |
| 心 | 3 (5.00%) | 8 (6.56%) | 表情 (6)、態度 (1)、笑顔 (1) |
| 資材 | 5 (8.33%) | 5 (4.10%) | ロッド (1)、側 (1)、岩 (1)、材 (1) |
| 衣料 | 1 (1.67%) | 2 (1.64%) | 革 (2) |
| 食料 | 2 (3.33%) | 3 (2.46%) | 肉 (2)、豆腐 (1) |
| 住居 | 3 (5.00%) | 5 (4.10%) | シート (3)、椅子 (1)、縁側 (1) |
| 道具 | 1 (1.67%) | 1 (0.82%) | ブラシ (1) |
| 機械 | 2 (3.33%) | 2 (1.64%) | クラッチ (1)、レンズ (1) |
| 自然 | 2 (3.33%) | 2 (1.64%) | 靴音 (1)、音 (1) |
| 物質 | 3 (5.00%) | 4 (3.28%) | 土 (2)、岩 (1)、水 (1) |
| 天地 | 1 (1.67%) | 1 (0.82%) | 地山 (1) |
| 植物 | 5 (8.33%) | 6 (4.92%) | 茎 (2)、種 (1)、種子 (1)、葉 (1) |
| 身体 | 23 (38.33%) | 72 (59.02%) | 体 (30)、便 (5)、子宮 (6) |
| **総計** | **60 (100%)** | **122 (100%)** |  |

表10によると、「身体」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で38.33%、異なり語数で59.02%を占めている。「身体」の意味の名詞の種類が多く、使用回数も多いということである。

### 3.2.4．「堅い」と共起する名詞

次に、「堅い」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析す  
る。分析結果を以下の表11に示す。

表11：「堅い」と共起する名詞の意味（部門）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 3 (9.68%) | 3 (5.56%) | カバー (1)、リード (1)、座面 (1) |
| 主体 | 1 (3.23%) | 2 (3.70%) | 方 (1)、黒 (1) |
| 活動 | 12 (38.71%) | 18 (33.33%) | ガード (5)、守り (3)、義理 (1) |
| 生産物 | 4 (12.90%) | 5 (7.41%) | 紐 (2)、国産 (1)、かき揚げ (1) |
| 自然 | 11 (35.48%) | 26 (48.15%) | 口 (11)、皮 (3)、茎 (2)、地盤 (2) |
| **総計** | **31 (100%)** | **54 (100%)** |  |

表11をによると、「活動」は異なり語数で38.71%、延べ語数で33.33%を占めている。一方で「自然」は異なり語数で35.48%、延べ語数で48.15%を占めている。「活動」の意味の名詞も「自然」の意味の名詞も種類が多く、使用回数も多いということである。

次に、「堅い」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表12に示す。

表12：「堅い」と共起する名詞の意味（中項目）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 作用 | 2 (6.45%) | 2 (3.70%) | カバー (1)、リード (1) |
| 空間 | 1 (3.23%) | 1 (1.85%) | 面 (1) |
| 人物 | 1 (3.23%) | 2 (3.70%) | 選手 (2) |
| 心 | 6 (19.35%) | 6 (11.11%) | 意志 (1)、気持ち (1)、決心 (1)、義理 (1) |
| 言語 | 1 (3.23%) | 1 (1.85%) | 喋り (1) |
| 行為 | 1 (3.23%) | 1 (1.85%) | 身持ち (1) |
| 交わり | 3 (9.68%) | 7 (12.96%) | ガード (5)、守備 (1)、防備 (1) |
| 待遇 | 1 (3.23%) | 3 (5.56%) | 守り (3) |
| 物品 | 1 (3.23%) | 1 (1.85%) | 国産 (1) |
| 資材 | 2 (6.45%) | 3 (5.56%) | 紐 (2)、物 (1) |
| 食料 | 1 (3.23%) | 1 (1.85%) | 掻き揚げ (1) |
| 物質 | 1 (3.23%) | 1 (1.85%) | 土 (1) |
| 天地 | 1 (3.23%) | 2 (3.70%) | 地盤 (2) |
| 植物 | 2 (6.45%) | 3 (1.85%) | 茎 (2)、蕾 (1) |
| 身体 | 7 (22.58%) | 20 (37.04%) | 口 (11)、皮 (3)、手 (2)、体 (1) |
| **総計** | **31 (100%)** | **54 (100%)** |  |

表12をによると、「身体」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で22.58%、延べ語数で37.04%を占めている。「身体」の意味の名詞は種類が多く、使用回数も多いということである。また、「心」の意味の名詞は異なり語数で19.35%、延べ語数で11.11%を占めている。「心」の意味の名詞は種類が多いが使用回数が少ないということである。一方で「交わり」の意味の名詞は異なり語数で9.68%、延べ語数で12.96%を占めている。「交わり」の意味の名詞は種類が少ないが、使用回数が多いということである。

### 3.2.5．分析のまとめ考察

最後に、前項までの分析結果をまとめる。以下の表13は、【かたい】と共起する名詞  
の意味（部門）を異なり語数でまとめた結果である。

表13：【かたい】と共起する名詞の意味（部門）を異なり語数でまとめた結果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 関係 | 7 (25.93%) | 5 (8.93%) | 8 (13.33%) | 3 (9.68%) |
| 主体 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.67%) | 1 (3.23%) |
| 活動 | 2 (7.41%) | 13 (23.21%) | 3 (5.00%) | 12 (38.71%) |
| 生産物 | 6 (22.22%) | 15 (26.79%) | 14 (23.33%) | 4 (12.90%) |
| 自然 | 12 (44.44%) | 23 (41.07%) | 34 (56.67%) | 11 (35.48%) |
| **総計** | **27 (100%)** | **56 (100%)** | **60 (100%)** | **31 (100%)** |

表13によると、「かたい」「固い」「硬い」はよく「自然」の意味の名詞と共に用いられているという点においては共通している。ただし、「かたい」と「固い」が「自然」の意味の名詞と共起する比率は40%程度である一方、「硬い」のこの比率は56.67%で、10%以上高い。一方で「堅い」では35.48%に過ぎないという点において他の表記と異なっている。

また、「かたい」「固い」「硬い」はよく「生産物」の意味の名詞と共に用いられるという点においても共通している。全3つの表記では「生産物」の比率は25%程度である。

さらに、「活動」は「固い」で23.21%、「堅い」で38.71%を占め、「活動」の意味の名詞がよく「固い」と「堅い」と共に用いられているということである。

最後に、「関係」は「かたい」で25.93%を占め、「かたい」はよく「関係」の意味の名詞と共に用いられているということである。

以下の表14は、【かたい】と共起する名詞の意味（部門）を延べ語数でまとめた結果である。

表14：【かたい】と共起する名詞の意味（部門）を延べ語数でまとめた結果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 関係 | 8 (22.86%) | 13 (10.74%) | 10 (8.20%) | 3 (5.56%) |
| 主体 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (0.82%) | 2 (3.70%) |
| 活動 | 2 (5.71%) | 30 (24.79%) | 8 (6.56%) | 18 (33.33%) |
| 生産物 | 7 (20.00%) | 16 (13.22%) | 18 (14.75%) | 5 (7.41%) |
| 自然 | 18 (51.43%) | 62 (51.24%) | 85 (69.67%) | 26 (48.15%) |
| **総計** | **35 (100%)** | **121 (100%)** | **122 (100%)** | **54 (100%)** |

表14によると【かたい】のどの表記でも「自然」の意味の名詞と共起することが多い。「堅い」で48.15%、「かたい」「固い」で50%程度、一方で「硬い」で一番高く、69.67%を占めている。これは、「自然」の意味の名詞がどの表記でもよくともに用いられ、繰り返して使用されることが多いということである。

また、「活動」は「固い」で24.79%、「堅い」で33.33%を占め、「活動」の意味の名詞は「固い」「堅い」と共に使用される回数が多いということである。

最後に、「関係」は「かたい」で22.86%を占め、「かたい」はよく「関係」の意味の名詞と共に用いられ、繰り返して使われているということである。

以下の表15は、【かたい】と共起する名詞の意味（中項目）を異なり語数でまとめた結果である。

表15：【かたい】と共起する名詞の意味（中項目）を異なり語数でまとめた結果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 様相 | 3 (11.11%) | 1 (1.79%) | 2 (3.33%) | 0 (0.00%) |
| 作用 | 1 (3.70%) | 2 (3.57%) | 1 (1.67%) | 2 (6.45%) |
| 空間 | 1 (3.70%) | 2 (3.57%) | 4 (6.67%) | 1 (3.23%) |
| 形 | 2 (7.41%) | 0 (0.00%) | 1 (1.67%) | 0 (0.00%) |
| 人物 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.67%) | 1 (3.23%) |
| 心 | 1 (3.70%) | 7 (12.50%) | 3 (5.00%) | 6 (19.35%) |
| 言語 | 0 (0.00%) | 3 (5.36%) | 0 (0.00%) | 1 (3.23%) |
| 行為 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (3.23%) |
| 交わり | 1 (3.70%) | 3 (5.36%) | 0 (0.00%) | 3 (9.68%) |
| 待遇 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (3.23%) |
| 物品 | 1 (3.70%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (3.23%) |
| 資材 | 1 (3.70%) | 1 (1.79%) | 5 (8.33%) | 2 (6.45%) |
| 衣料 | 2 (7.41%) | 3 (5.36%) | 1 (1.67%) | 0 (0.00%) |
| 食料 | 1 (3.70%) | 7 (12.50%) | 2 (3.33%) | 1 (3.23%) |
| 住居 | 0 (0.00%) | 2 (3.57%) | 3 (5.00%) | 0 (0.00%) |
| 道具 | 1 (3.70%) | 2 (3.57%) | 1 (1.67%) | 0 (0.00%) |
| 機械 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 2 (3.33%) | 0 (0.00%) |
| 自然 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 2 (3.33%) | 0 (0.00%) |
| 物質 | 0 (0.00%) | 2 (3.57%) | 3 (5.00%) | 1 (3.23%) |
| 天地 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.67%) | 1 (3.23%) |
| 植物 | 2 (7.41%) | 5 (8.93%) | 5 (8.33%) | 2 (6.45%) |
| 身体 | 10 (37.04%) | 16 (28.57%) | 23 (38.33%) | 7 (22.58%) |
| **総計** | **27 (100%)** | **56 (100%)** | **60 (100%)** | **31 (100%)** |

表15によると、「身体」は「かたい」「硬い」で38%程度、「固い」「堅い」で25%程度である。「身体」の意味の名詞はどの表記とも共起するということである。

また、「心」は「固い」で12.50%、「堅い」で19.35%を占め、両方も高い。よって、「心」の意味の名詞が「固い」と「堅い」とも共起するということである。

以下の表16は、【かたい】と共起する名詞の意味（中項目）を延べ語数でまとめた結果である。

表16：【かたい】と共起する名詞の意味（中項目）を延べ語数でまとめた結果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 様相 | 3 (8.57%) | 1 (0.83%) | 2 (1.64%) | 2 (3.70%) |
| 作用 | 1 (2.86%) | 10 (8.26%) | 2 (1.64%) | 1 (1.85%) |
| 空間 | 2 (5.71%) | 2 (1.65%) | 5 (4.10%) | 0 (0.00%) |
| 形 | 2 (5.71%) | 0 (0.00%) | 1 (0.82%) | 0 (0.00%) |
| 人物 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (0.82%) | 2 (3.70%) |
| 心 | 1 (2.86%) | 16 (13.22%) | 8 (6.56%) | 6 (11.11%) |
| 言語 | 0 (0.00%) | 3 (2.48%) | 0 (0.00%) | 1 (1.85%) |
| 行為 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.85%) |
| 交わり | 1 (2.86%) | 11 (9.09%) | 0 (0.00%) | 7 (12.96%) |
| 待遇 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 3 (5.56%) |
| 物品 | 1 (2.86%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (1.85%) |
| 資材 | 1 (2.86%) | 1 (0.83%) | 5 (4.10%) | 3 (5.56%) |
| 衣料 | 2 (5.71%) | 3 (2.48%) | 2 (1.64%) | 0 (0.00%) |
| 食料 | 2 (5.71%) | 8 (6.61%) | 3 (2.46%) | 1 (1.85%) |
| 住居 | 0 (0.00%) | 2 (1.65%) | 5 (4.10%) | 0 (0.00%) |
| 道具 | 1 (2.86%) | 2 (1.65%) | 1 (0.82%) | 0 (0.00%) |
| 機械 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 2 (1.64%) | 0 (0.00%) |
| 自然 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 2 (1.64%) | 0 (0.00%) |
| 物質 | 0 (0.00%) | 3 (2.48%) | 4 (3.28%) | 1 (1.85%) |
| 天地 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (0.82%) | 2 (3.70%) |
| 植物 | 2 (5.71%) | 7 (5.79%) | 6 (4.92%) | 3 (1.85%) |
| 身体 | 16 (45.71%) | 52 (42.98%) | 72 (59.02%) | 20 (37.04%) |
| **総計** | **35 (100%)** | **121 (100%)** | **122 (100%)** | **54 (100%)** |

表16によると、「身体」は「堅い」で37.04％、「かたい」「固い」で45％程度で、「硬い」で59.02％を占めている。これは、「身体」の意味の名詞が【かたい】のどの表記でよく共に用いられ、繰り返して使われているということである。

また、「心」は「固い」で13.22％、「堅い」で11.11％を占めている。「心」の意味の名詞は「固い」「堅い」と共起し、繰り返し使用されることが多い。同じように、「交わり」は「堅い」で12.96％を占め、つまり「交わり」の意味の名詞が「堅い」と共起し繰り返し使用されることが多い。

「身体」の意味の名詞の中に、「頭」「口」が【かたい】と共起し、身体部位慣用句になる。「頭」とよく共起するのは「固い」である。「頭が固い」というのは頑固で頑なな考え方をするという意味を持ち、精神的な事を表す。以上記述したように、「固い」は「心」の意味の名詞とよく共起し、つまり精神のことを表すときに使用されている。この点、「頭」が「固い」と共起するということと整合的である。

また、「口」とよく共起するのは「堅い」である。「口が堅い」とは、言ってはいけないことは他の人に言わない、秘密をしっかり守るという意味である。以上述べたように、「堅い」は「交わり」の意味の名詞と共に使用されている。「口が堅い」の意味は「交わり」に関係がある。この点、「口」が「堅い」と共起することと整合的である。

「堅い」だけではなく、他の「固い」も用いられている。この点については、用例を挙げてみる。

（5）おしゃべりじゃないところが、口が固い、信頼できる、みたいに評価されて。おまけに、習字がすごくうまいんで、重宝がられてました。

（BCCWJ、LBq9\_00059、『なくさないで』祥伝社、2002）

同じように、この場面では「口が固い」も秘密をしっかり守るという意味である。「固い」は「心」の意味の名詞とり返し使用されることが多いため、「口が固い」ではこの表記も許容されていると思われる。

　同じ身体部位であるが、「体が硬い」は慣用句ではなく、ただの体がこわばって、柔軟性がないという意味である。「体」（30回）だけでなく、「子宮」（6回）「骨」（5回）「皮」（4回）などの身体部位の名詞も「硬い」とよく共起する。

一方で、「表情」という名詞は物理的なイメージを持っていないが、実際に「表情が硬い」という句が使用されている。

（6）化粧直しの１コマをとらえたが、ガラスに映った表情が硬く若い女性の魅力を引き出すことは出来なかった。

（BCCWJ、PB17\_00110、『ちがいのわかる写真術。』三樹書房、2001）

以上の用例では、「表情が硬い」は人間が緊張して、人間らしく喜怒哀楽を顔で表現できないという意味を持っている。これは「身体」の意味にも近いである。そのため、こういう場面では「表情」は「硬い」と共起するということである。ここで、「硬い」は「柔軟性がなく、よく動かない」という意味であると思われる。

本節における、「名詞＋が＋【かたい】」という形式の分析と考察から共起する名詞の違いによって「固い」「硬い」「堅い」の意味の違いと使い分けを以下のようにまとめることができる。

「固い」

「頭が固い」の慣用句で使用されることが多い。その他に、しっかりしている・簡単に変えないという意味を持って、「結束」「ガード」「意志」「決心」などの「心」「交わり」の意味を持っている名詞と共に用いられる。

「硬い」

こわばっている・外力に強い、または形が変わらないように見えるという意味を持って、「体」「骨」「筋（筋肉）」などの身体部位の名詞と共に用いられる。

「堅い」

信用できるという意味を持って「口」と組み合わせ「口が堅い」の慣用句になる。また、しっかりしているという意味を持って、「守り」「ガード」という「活動」の意味を表す名詞と共に用いられる。

## 3.3．【かたい】と共起する名詞―「【かたい】＋名詞」の形式

本節では、【かたい】と共起する名詞の分析を行う。具体的には【かたい】が形容詞として用いられる「【かたい】＋名詞」の使用形式を分析対象とする。

まずは、「【かたい】＋名詞」という形式で、【かたい】と共起する名詞上位10位を以下の表17で示す。

表17：【かたい】と共起する名詞上位10位

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 1位 | 物 12 (6.15%) | 物 52 (10.44%) | 物 59 (10.24%) | 物 19 (6.03%) |
| 2位 | 部分 12 (6.15%) | 決意 21 (4.22%) | 表情 41 (7.12%) | 事 16 (5.08%) |
| 3位 | 表情 7 (3.59%) | 握手 19 (3.82%) | 所 12 (2.08%) | 部分 10 (3.17%) |
| 4位 | 事 7 (3.59%) | 表情 18 (3.61%) | 部分 9 (1.56%) | 木 10 (3.17%) |
| 5位 | 決意 6 (3.08%) | 絆 12 (2.41%) | 皮 9 (1.56%) | 話 9 (2.86%) |
| 6位 | 殻 5 (2.56%) | 部分 9 (1.81%) | 骨 9 (1.56%) | 表情 8 (2.54%) |
| 7位 | 骨 5 (2.56%) | 事 9 (1.81%) | 殻 8 (1.39%) | 皮 7 (2.22%) |
| 8位 | 岩盤 4 (2.05%) | 友情　　9 (1.81%) | 感触 8 (1.39%) | 守り 7 (2.22%) |
| 9位 | 木 4 (2.05%) | 殻 8 (1.61%) | 便 8 (1.39%) | 所 6 (1.90%) |
| 10位 | 皮 4 (2.05%) | 信念 8 (1.61%) | 論 8 (1.39%) | 人 5 (1.59%) |

表17によると、「【かたい】＋名詞」という形式において、【かたい】とよく共起する名詞は「物」「決意」「表情」「事」である。「かたい」では「物」が6.15%、「部分」が6.15%、「表情」が3.61%、「事」が3.61%を占めている。「固い」では「物」が10.44%、「決意」が4.22%、「握手」が3.82%、「表情」が3.61%を占めている。「硬い」では「物」が10.24%、「表情」が7.12%を占めている。「堅い」では「物」が6.03%、「事」が5.08%、「部分」が3.17%を占めている。

### 3.3.1．「かたい」と共起する名詞

本項から、【かたい】の各表記が「【かたい】＋名詞」という形式においてどのような名詞と共に用いられるのか、名詞の意味に着目して詳しい分析を行う。名詞の意味を分析する際には『分類語彙表』の分類に従う。

まずは、「かたい」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表18に示す。

表18：「かたい」と共起する名詞の意味（部門）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 19 (16.67%) | 32 (16.41%) | 部分 (12)、所 (3)、事 (1) |
| 主体 | 5 (4.39%) | 6 (3.07%) | 男 (2)、仲間 (1)、先生 (1) |
| 活動 | 25 (21.92%) | 50 (25.64%) | 表情 (7)、事 (6)、決意 (6) |
| 生産物 | 21 (18.42%) | 38 (19.49%) | 物 (12)、ジーンズ (2)、チーズ (2) |
| 自然 | 44 (38.60%) | 69 (35.39%) | 殻 (5)、骨 (5)、岩盤 (4) |
| **総計** | **114 (100%)** | **195 (100%)** |  |

表18によると、「自然」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で38.60%、延べ語数で35.39%を占めている。また、「活動」は異なり語数で21.92%、延べ語数で25.64%を占めている。「自然」「活動」の意味の名詞は種類だけでなく、使用回数も多いということである。

次に、「かたい」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表19で示す。

表19：「かたい」と共起する名詞の意味（中項目）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 事柄・真偽 | 2 (1.75%) | 2 (1.03%) | 事 (7)、実 (1) |
| 類 | 6 (5.26%) | 6 (3.08%) | 絆(1)、前提 (1)、種類 (1) |
| 様相 | 6 (5.26%) | 6 (3.08%) | 姿 (1)、状態 (1)、角質 (1) |
| 作用 | 2 (1.75%) | 2 (1.03%) | 堆積 (1)、結束 (1) |
| 空間 | 2 (1.75%) | 4 (2.05%) | 所 (3)、外 (1) |
| 量 | 1 (0.88%) | 12 (6.15%) | 部分 (12) |
| 人間 | 5 (4.39%) | 5 (2.56%) | 男 (2)、仲間 (1)、相手 (1) |
| 心 | 13 (11.40%) | 29 (14.87%) | 表情 (7)、決意 (6)、声 (5) |
| 言語 | 6 (5.26%) | 13 (3.59%) | 事 (6)、話 (3)、握手 (1) |
| 生活 | 1 (0.88%) | 1 (0.51%) | レース (1) |
| 交わり | 1 (0.88%) | 3 (1.54%) | 約束 (3) |
| 経済 | 2 (1.75%) | 2 (1.03%) | 商い (1)、商売 (1) |
| 事業 | 2 (1.75%) | 2 (1.03%) | 事業 (1)、木製 (1) |
| 物品 | 1 (0.88%) | 12 (6.15%) | 物 (12) |
| 資材 | 6 (5.26%) | 7 (3.59%) | 木 (2)、合金 (1)、石 (1) |
| 衣料 | 5 (4.39%) | 6 (3.08%) | ジーンズ (2)、木綿 (1)、着物 (1) |
| 食料 | 3 (2.63%) | 4 (2.05%) | チーズ (2)、バター (1)、野菜 (1) |
| 住居 | 3 (2.63%) | 6 (3.08%) | 壁 (2)、床 (2)、椅子 (2) |
| 道具 | 3 (2.63%) | 3 (1.54%) | ブリーフケース (1)、刃 (1) |
| 自然 | 1 (0.88%) | 1 (0.51%) | 光 (1) |
| 物質 | 10 (8.77%) | 16 (8.21%) | 岩盤 (4)、岩石 (3)、青銅 (2) |
| 天地 | 2 (1.75%) | 4 (2.05%) | 地面 (3)、地盤 (1) |
| 生物 | 10 (8.77%) | 12 (6.15%) | 繊維 (1)、脂肪 (1) 、木 (2) |
| 身体 | 20 (17.54%) | 35 (17.95%) | 殻 (5)、骨 (5)、皮 (4) |
| 生命 | 1 (0.88%) | 1 (0.51%) | 痼 (1) |
| **総計** | **114 (100%)** | **195 (100%)** |  |

表19によると、「身体」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で17.54%、延べ語数で17.95%を占めている。また、「心」の意味の名詞が異なり語数で11.40%、延べ語数で14.87%を占めている。「身体」「心」の意味の名詞は種類だけでなく使用回数も多いということである。

### 3.3.2．「固い」と共起する名詞

次に、「固い」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析す  
る。分析結果を以下の表20に示す。

表20：「固い」と共起する名詞の意味（部門）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 41 (17.67%) | 77 (15.46%) | 絆 (12)、部分 (9)、侭 (4) |
| 主体 | 10 (4.31%) | 10 (2.01%) | 人 (1)、会社 (1)、個人 (1) |
| 活動 | 57 (24.57%) | 165 (33.13%) | 決意 (21)、握手 (19)、表情 (18) |
| 生産物 | 54 (23.28%) | 130 (26.11%) | 物 (52)、ベッド (6)、木 (5) |
| 自然 | 70 (30.17%) | 116 (23.29%) | 蕾 (7)、殻 (5)、地面 (4) |
| **総計** | **232 (100%)** | **498 (100%)** |  |

表20によると、「自然」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で30.17%、延べ語数で23.29%を占めいる。また、「活動」は異なり語数で24.57%、延べ語数で33.13%を占めている。同じく、「生産物」は異なり語数で23.28%、延べ語数で26.11%を占めている。

次に、「固い」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表21で示す。

表21：「固い」と共起する名詞の意味（中項目）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 事柄・真偽 | 2 (0.86%) | 3 (0.60%) | 事 (2)、ミステリー (1) |
| 類 | 4 (1.72%) | 18 (3.61%) | 絆 (12)、侭 (4)、結び付き (1) |
| 存在 | 1 (0.43%) | 1 (0.20%) | 秘密 (1) |
| 様相 | 7 (3.00%) | 9 (1.81%) | 殻 (3)、マリノ (1)、内容 (1) |
| 作用 | 8 (3.43%) | 11 (2.21%) | 膜 (3)、結束 (2)、タッチ (1) |
| 時間 | 2 (0.86%) | 4 (0.80%) | 時 (3)、場合 (1) |
| 空間 | 8 (3.43%) | 13 (2.61%) | 所 (3)、縁 (3)、内 (1) |
| 形 | 6 (2.58%) | 7 (1.41%) | 角 (2)、円筒 (1)、粒 (1) |
| 量 | 3 (1.29%) | 11 (2.21%) | 部分 (9)、固まり (1)、質量 (1) |
| 人間 | 3 (1.29%) | 3 (0.60%) | 人 (1)、女 (1)、兄弟 (1) |
| 公私 | 2 (0.86%) | 2 (0.40%) | フランス (1)、個人 (1) |
| 社会 | 2 (0.86%) | 2 (0.40%) | 会社 (1)、日本 (1) |
| 機関 | 3 (1.29%) | 3 (0.60%) | 同盟 (1)、組織 (1)、警察 (1) |
| 心 | 29 (12.45%) | 103 (20.68%) | 決意 (21)、表情 (18)、友情 (9) |
| 言語 | 8 (3.43%) | 36 (7.23%) | 握手 (19)、事 (7)、口調 (4) |
| 生活 | 4 (1.72%) | 5 (1.00%) | 拳 (2)、スクラム (1)、姿勢 (1) |
| 行為 | 3 (1.29%) | 3 (0.60%) | 公務 (1)、政権 (1)、身分 (1) |
| 交わり | 9 (3.86%) | 14 (2.81%) | 約束 (4)、ガード (2)、守り (2) |
| 経済 | 1 (0.43%) | 1 (0.20%) | 商売 (1) |
| 事業 | 3 (1.29%) | 3 (0.60%) | 職業 (1)、舗装 (1)、装甲 (1) |
| 物品 | 4 (1.72%) | 55 (11.04%) | 物 (52)、パック (1)、商品 (1) |
| 資材 | 13 (5.58%) | 21 (4.22%) | 木 (5)、木材 (2)、石 (2) |
| 衣料 | 14 (6.01%) | 21 (4.22%) | ベッド (21)、木綿 (2)、靴 (2) |
| 食料 | 10 (4.29%) | 13 (2.61%) | 肉 (2)、パン (2)、鶏肉 (2) |
| 住居 | 5 (2.15%) | 9 (1.81%) | 椅子 (4)、床 (2)、ベンチ (1) |
| 道具 | 5 (2.15%) | 6 (1.20%) | ボール (2)、バット (1)、ビン (1) |
| 土地利用 | 3 (1.29%) | 5 (1.00%) | 道路 (3)、石畳 (1)、雪道 (1) |
| 自然 | 4 (1.72%) | 6 (1.20%) | 音 (3)、光 (1)、材質 (1) |
| 物質 | 16 (6.87%) | 27 (5.42%) | 岩盤 (4)、氷 (3)、土 (2) |
| 天地 | 7 (3.00%) | 16 (3.21%) | 地盤 (4)、地面 (4)、大地 (4) |
| 生物 | 19 (7.51%) | 29 (5.82%) | 細胞 (1)、蕾 (7)、繭 (1) |
| 身体 | 25 (10.73%) | 38 (7.63%) | 殻 (5)、皮 (3)、頭 (3) |
| **総計** | **233 (100%)** | **498 (100%)** |  |

表21をによると、「心」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で12.45%、延べ語数で20.68%を占めている。「心」の意味の名詞は種類だけでなく、使用回数も多いということである。一方で、「物品」の意味の名詞は異なり語数で1.72%、延べ語数で11.04%を占めている。「物品」の意味の名詞は種類が多くないが、使用回数が多いということである。

### 3.3.3．「硬い」と共起する名詞

次に、「硬い」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析す  
る。分析結果を以下の表22に示す。

表22：「硬い」と共起する名詞の意味（部門）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 42 (16.87%) | 83 (14.41%) | 所 (12)、部分 (9)、方 (6) |
| 主体 | 5 (2.01%) | 10 (1.74%) | 人 (5)、組織 (2)、ボス (1) |
| 活動 | 37 (14.86%) | 121 (21.00%) | 表情 (41)、感触 (8)、感じ (6) |
| 生産物 | 70 (28.11%) | 171 (29.69%) | 物 (58)、素材 (7)、床 (6) |
| 自然 | 95 (38.15%) | 191 (33.16%) | 皮 (9)、骨 (9)、便 (8) |
| **総計** | **249 (100%)** | **576 (100%)** |  |

表22によると、「自然」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で38.15%、延べ語数で33.10%を占めている。続いて「生産物」は異なり語数で28.11%、延べ語数で29.64%を占めている。一方で、「活動」は異なり語数で14.06%、延べ語数で19.06%を占めている。そして「関係」は異なり語数で17.67%、延べ語数で16.46%を占めている。

次に、「硬い」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表23で示す。

表23：「硬い」と共起する名詞の意味（中項目）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 事柄・真偽 | 5 (2.00%) | 10 (1.74%) | 方 (5)、実 (2)、別 (1) |
| 類 | 4 (1.60%) | 8 (1.39%) | 侭 (4)、層 (2)、ドライ (1) |
| 様相 | 6 (2.40%) | 6 (1.04%) | 上質 (1)、味 (1)、殻 (1) |
| 作用 | 2 (0.80%) | 2 (0.35%) | 膜 (1)、隆起 (1) |
| 時間 | 4 (1.60%) | 8 (1.39%) | 場合 (3)、時 (3)、冬 (1) |
| 空間 | 7 (2.80%) | 21 (3.65%) | 所 (12)、切っ先 (3)、面 (2) |
| 形 | 10 (4.00%) | 12 (2.08%) | 形 (2)、襞 (2)、ポーズ (1) |
| 量 | 5 (2.00%) | 16 (2.78%) | 部分 (9)、固まり (3)、重量 (1) |
| 人間 | 4 (1.60%) | 8 (1.39%) | 人 (5)、男性 (1)、ボス (1) |
| 機関 | 1 (0.40%) | 2 (0.35%) | 組織 (2) |
| 心 | 16 (6.40%) | 86 (14.93%) | 表情 (41)、感触 (8)、感じ (6) |
| 言語 | 8 (3.20%) | 22 (3.82%) | 口調 (5)、文章 (5)、表現 (4) |
| 生活 | 4 (1.60%) | 4 (0.69%) | 姿勢 (1)、舞踊 (1)、文芸 (1) |
| 行為 | 2 (0.80%) | 2 (0.35%) | 態度 (1)、演技 (1) |
| 交わり | 2 (0.80%) | 2 (0.35%) | 共同 (1)、面接 (1) |
| 待遇 | 1 (0.40%) | 1 (0.17%) | 管理 (1) |
| 事業 | 4 (1.60%) | 4 (0.69%) | 木製 (1)、焼き上がり (1)、薄切り (1) |
| 物品 | 2 (0.80%) | 60 (10.42%) | 物 (58)、異物 (2) |
| 資材 | 22 (8.80%) | 45 (7.81%) | 素材 (7)、材料 (5)、木 (4) |
| 衣料 | 16 (6.40%) | 19 (3.30%) | 鎧 (2)、革 (2)、ベッド (1) |
| 食料 | 14 (5.60%) | 15 (2.60%) | 麺 (2)、クリーム (1)、ステーキ (1) |
| 住居 | 7 (2.80%) | 16 (2.78%) | 床 (6)、壁 (3)、椅子 (2) |
| 道具 | 9 (3.60%) | 16 (2.78%) | ボール (4)、鉛筆 (3)、エナメル (2) |
| 自然 | 5 (2.00%) | 11 (1.91%) | 音 (6)、白色 (2)、材質 (1) |
| 物質 | 21 (8.40%) | 51 (8.85%) | 塩基 (7)、物質 (6)、金属 (6) |
| 天地 | 9 (3.60%) | 11 (1.91%) | 土 (2)、地盤 (2)、ヤルダン (1) |
| 生物 | 22 (8.80%) | 26 (4.51%) | 葉 (3)、鮑 (2)、脂肪 (1) |
| 身体 | 34 (13.60%) | 83 (14.41%) | 皮 (9)、骨 (9)、便 (8) |
| 生命 | 4 (1.60%) | 9 (1.56%) | 痼 (4)、瘤 (2)、腫瘤 (2) |
| **総計** | **250 (100%)** | **576 (100%)** |  |

表23によると、「身体」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で13.60%、延べ語数で14.41%を占めている。「身体」の意味の名詞は種類だけでなく、使用回数も多いということである。一方で、「物品」は異なり語数で0.80%、延べ語数で10.42%を占めている。「物品」の意味の名詞は種類が多くないが、使用回数が多いということである。同じく、「心」は異なり語数で6.40%、延べ語数で14.93%を占めている。「心」の意味の名詞は種類が多くないが、使用回数が多いということである。

### 3.3.4．「堅い」と共起する名詞

次に、「堅い」と共起する名詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表24に示す。

表24：「堅い」と共起する名詞の意味（部門）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 28 (16.57%) | 61 (19.37%) | 部分 (10)、所 (6)、性格 (4) |
| 主体 | 27 (15.98%) | 36 (11.43%) | 人 (5)、男 (4)、人間 (2) |
| 活動 | 44 (26.04%) | 95 (30.16%) | 事 (14)、話 (9)、表情 (8) |
| 生産物 | 34 (20.12%) | 74 (23.49%) | 物 (19)、木 (9)、石 (5) |
| 自然 | 36 (21.30%) | 49 (15.56%) | 皮 (7)、岩 (3)、根 (2) |
| **総計** | **169 (100%)** | **315 (100%)** |  |

表24によると、「活動」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で26.04%、延べ語数で30.16%を占めている。同じく、「生産物」は異なり語数で20.12%、延べ語数で23.49%を占めている。「活動」「生産物」の意味の名詞は種類だけでなく、使用回数も多いということである。また、「自然」は異なり語数で21.30%、延べ語数で15.56%を占めている。「自然」の意味の名詞は種類が多いが、使用回数が多くないということである。

次に、「堅い」と共起する名詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表25で示す。

表25：「堅い」と共起する名詞の意味（中項目）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 事柄・真偽 | 3 (1.81%) | 7 (2.22%) | 事 (2)、方 (4)、真 (1) |
| 類 | 3 (1.81%) | 3 (0.95%) | 家系 (1)、層 (1)、理由 (1) |
| 様相 | 7 (4.14%) | 15 (4.76%) | 性格 (4)、雰囲気 (4)、殻 (3) |
| 作用 | 6 (3.55%) | 10 (3.17%) | 結束 (3)、防御 (3)、決着 (1) |
| 時間 | 1 (0.59%) | 1 (0.32%) | 時代 (1) |
| 空間 | 7 (4.14%) | 13 (4.13%) | 所 (6)、分野 (2)、ゴール (1) |
| 形 | 1 (0.59%) | 3 (0.95%) | 目 (3) |
| 量 | 1 (0.59%) | 10 (3.17%) | 部分 (10) |
| 人間 | 19 (11.24%) | 28 (8.89%) | 人 (5)、男 (4)、人間 (2) |
| 公私 | 2 (1.18%) | 2 (0.63%) | 国 (1)、日本 (1) |
| 社会 | 4 (2.37%) | 4 (1.27%) | 会社 (1)、住友 (1)、業界 (1) |
| 機関 | 2 (1.18%) | 2 (0.95%) | キリスト (1)、官庁 (1) |
| 心 | 17 (10.06%) | 34 (10.79%) | 表情 (8)、印象 (4)、イメージ (3) |
| 言語 | 14 (8.28%) | 38 (12.06%) | 事 (14)、話 (9)、挨拶 (2) |
| 生活 | 5 (2.96%) | 8 (2.54%) | 手 (4)、ゲーム (1)、ブロック (1) |
| 交わり | 2 (1.18%) | 8 (2.54%) | 守り (7)、ガード (1) |
| 待遇 | 2 (1.18%) | 2 (0.63%) | 処刑 (1)、賞 (1) |
| 事業 | 3 (1.78%) | 4 (1.27%) | 職業 (2)、木製 (1)、蝶結び (1) |
| 物品 | 1 (0.59%) | 19 (6.03%) | 物 (19) |
| 資材 | 12 (7.10%) | 27 (8.57%) | 木 (9)、石 (5)、板 (4) |
| 衣料 | 7 (4.14%) | 9 (2.86%) | ベッド (2)、鎧 (2)、ジーンズ (1) |
| 食料 | 6 (3.55%) | 10 (3.17%) | 食物 (4)、御飯 (2)、おこわ (1) |
| 住居 | 7 (4.14%) | 8 (2.54%) | 扉 (2)、城 (1)、梁 (1) |
| 道具 | 1 (0.59%) | 1 (0.32%) | 将棋 (1) |
| 自然 | 2 (1.18%) | 2 (0.63%) | 光沢 (1)、音 (1) |
| 物質 | 8 (4.73%) | 10 (3.17%) | 岩 (3)、岩盤 (1)、核 (1) |
| 天地 | 4 (2.37%) | 4 (1.27%) | 土 (1)、地層 (1)、地盤 (1) |
| 生物 | 14 (8.28%) | 17 (5.40%) | 根 (2)、芯 (2)、ジャガ芋 (1) |
| 身体 | 8 (4.73%) | 16 (5.08%) | 皮 (7)、毛 (2)、甲羅 (2) |
| **総計** | **169 (100%)** | **315 (100%)** |  |

表25によると、「言語」の意味の名詞が一番多く、異なり語数で8.28%、延べ語数で12.06%を占めている。同じく、「心」は異なり語数で10.06%、延べ語数で10.79%を占めている。「言語」「心」の意味の名詞は種類だけでなく、使用回数も多いということである。

### 3.3.5．分析のまとめ考察

　最後に、前項までの分析結果をまとめる。以下の表26は、【かたい】と共起する名詞  
の意味（部門）を異なり語数でまとめた結果である。

表26：【かたい】と共起する名詞の意味（部門）を異なり語数でまとめた結果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 関係 | 19 (16.67%) | 41 (17.67%) | 42 (16.87%) | 28 (16.57%) |
| 主体 | 5 (4.39%) | 10 (4.31%) | 5 (2.01%) | 27 (15.98%) |
| 活動 | 25 (21.92%) | 57 (24.57%) | 37 (14.86%) | 44 (26.04%) |
| 生産物 | 21 (18.42%) | 54 (23.28%) | 70 (28.11%) | 34 (20.12%) |
| 自然 | 44 (38.60%) | 70 (30.17%) | 95 (38.15%) | 36 (21.30%) |
| **総計** | **114 (100%)** | **232 (100%)** | **249 (100%)** | **169 (100%)** |

表26によると、「自然」の意味の名詞はよく「かたい」「固い」「硬い」と共に用いられているという点においては共通している。ただし、「かたい」と「硬い」では「自然」の比率が38%程度である一方、「固い」では30.17%である。一方で、「堅い」では21.30%で、比率が少ないという点においては異なっている。

　また、「生産物」は「固い」で23.28%、「硬い」で28.11%を占めている。「生産物」の意味の名詞が「固い」とも「硬い」ともよく共に用いられているという点において共通している。

　さらに、「活動」の意味の名詞はよく「かたい」「固い」「堅い」と共に用いられているという点のおいては共通している。「固い」「堅い」で25%程度である一方、「硬い」で減少し、14.86%を占めているにすぎない。

　最後に、「関係」の意味の名詞はどの表記とも共に用いられ、比率が16%程度であるという点においても共通している。

　以下の表27は、【かたい】と共起する名詞の意味（部門）を延べ語数でまとめた結果である。

表27：【かたい】と共起する名詞の意味（部門）を延べ語数でまとめた結果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 関係 | 32 (16.41%) | 77 (15.46%) | 83 (14.41%) | 61 (19.37%) |
| 主体 | 6 (3.07%) | 10 (2.01%) | 10 (1.74%) | 36 (11.43%) |
| 活動 | 50 (25.64%) | 165 (33.13%) | 121 (21.00%) | 95 (30.16%) |
| 生産物 | 38 (19.49%) | 130 (26.11%) | 171 (29.69%) | 74 (23.49%) |
| 自然 | 69 (35.39%) | 116 (23.29%) | 191 (33.16%) | 49 (15.56%) |
| **総計** | **195 (100%)** | **498 (100%)** | **576 (100%)** | **315 (100%)** |

　表27によると、「自然」は「かたい」「硬い」で30%程度で、「自然」の意味の名詞が「かたい」「硬い」と共に、繰り返し用いられているという点においては共通している。一方で、「生産物」は「固い」「硬い」「堅い」で25%前後で、「生産物」の意味の名詞が以上の3つの表記と共に繰り返し用いられているということである。また、「活動」は「硬い」以外に延べ語数比率が25%を超え、つまり「活動」の意味の名詞が「かたい」「固い」「堅い」と共に繰り返し用いられることが多いということである。

　以下の表28は、【かたい】と共起する名詞の意味（中項目）を異なり語数でまとめた結果である。

表28：【かたい】と共起する名詞の意味（中項目）を異なり語数でまとめた結果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 事柄・真偽 | 2 (1.75%) | 2 (0.86%) | 5 (2.00%) | 3 (1.81%) |
| 類 | 6 (5.26%) | 4 (1.72%) | 4 (1.60%) | 3 (1.81%) |
| 存在 | 0 (0.00%) | 1 (0.43%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |
| 様相 | 6 (5.26%) | 7 (3.00%) | 6 (2.40%) | 7 (4.14%) |
| 作用 | 2 (1.75%) | 8 (3.43%) | 2 (0.80%) | 6 (3.55%) |
| 時間 | 0 (0.00%) | 2 (0.86%) | 4 (1.60%) | 1 (0.59%) |
| 空間 | 2 (1.75%) | 8 (3.43%) | 7 (2.80%) | 7 (4.14%) |
| 形 | 0 (0.00%) | 6 (2.58%) | 10 (4.00%) | 1 (0.59%) |
| 量 | 1 (0.88%) | 3 (1.29%) | 5 (2.00%) | 1 (0.59%) |
| 人間 | 3 (2.63%) | 3 (1.29%) | 4 (1.60%) | 19 (11.24%) |
| 公私 | 0 (0.00%) | 2 (0.86%) | 0 (0.00%) | 2 (1.18%) |
| 社会 | 0 (0.00%) | 2 (0.86%) | 0 (0.00%) | 4 (2.37%) |
| 機関 | 0 (0.00%) | 3 (1.29%) | 1 (0.40%) | 2 (1.18%) |
| 心 | 13 (11.40%) | 29 (12.45%) | 16 (6.40%) | 17 (10.06%) |
| 言語 | 6 (5.26%) | 8 (3.43%) | 8 (3.20%) | 14 (8.28%) |
| 生活 | 1 (0.88%) | 4 (1.72%) | 4 (1.60%) | 5 (2.96%) |
| 行為 | 0 (0.00%) | 3 (1.29%) | 2 (0.80%) | 0 (0.00%) |
| 交わり | 1 (0.88%) | 9 (3.86%) | 2 (0.80%) | 2 (1.18%) |
| 待遇 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (0.40%) | 2 (1.18%) |
| 経済 | 2 (1.75%) | 1 (0.43%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |
| 事業 | 2 (1.75%) | 3 (1.29%) | 4 (1.60%) | 3 (1.78%) |
| 物品 | 1 (0.88%) | 4 (1.72%) | 2 (0.80%) | 1 (0.59%) |
| 資材 | 6 (5.26%) | 13 (5.58%) | 22 (8.80%) | 12 (7.10%) |
| 衣料 | 5 (4.39%) | 14 (6.01%) | 16 (6.40%) | 7 (4.14%) |
| 食料 | 3 (2.63%) | 10 (4.29%) | 14 (5.60%) | 6 (3.55%) |
| 住居 | 3 (2.63%) | 5 (2.15%) | 7 (2.80%) | 7 (4.14%) |
| 道具 | 3 (2.63%) | 5 (2.15%) | 9 (3.60%) | 1 (0.59%) |
| 機械 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |
| 土地利用 | 0 (0.00%) | 3 (1.29%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |
| 自然 | 1 (0.88%) | 4 (1.72%) | 5 (2.00%) | 2 (1.18%) |
| 物質 | 10 (8.77%) | 16 (6.87%) | 21 (8.40%) | 8 (4.73%) |
| 天地 | 2 (1.75%) | 7 (3.00%) | 9 (3.60%) | 4 (2.37%) |
| 生物 | 10 (8.77%) | 19 (7.51%) | 22 (8.80%) | 14 (8.28%) |
| 身体 | 20 (17.54%) | 25 (10.73%) | 34 (13.60%) | 8 (4.73%) |
| 生命 | 1 (0.88%) | 0 (0.00%) | 4 (1.60%) | 0 (0.00%) |
| **総計** | **114 (100%)** | **233 (100%)** | **250 (100%)** | **169 (100%)** |

表28によると、「身体」は「かたい」で17.70％、「硬い」で13.60％、「固い」で10.78％を占めているのに対して、「堅い」で4.76％を占めているにすぎない。つまり、「堅い」は「身体」の意味の名詞とあまり共起しないということである。

　また、「資材」は「硬い」「堅い」で8％程度を占めている。「硬い」「堅い」はよく「資材」の意味の名詞と共に用いられているという点においては共通している。

　さらに、「心」は「かたい」「固い」「堅い」で10％程度を占めているのに対して、「硬い」で6.40％を占めているにすぎない。「硬い」は「心」の意味の名詞とあまり共起しないという点においては異なっている。

　以下の表29は、【かたい】と共起する名詞の意味（中項目）を延べ語数でまとめた結果である。

表29：【かたい】と共起する名詞の意味（中項目）を延べ語数でまとめた結果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 事柄・真偽 | 2 (1.03%) | 3 (0.60%) | 10 (1.74%) | 7 (2.22%) |
| 類 | 6 (3.08%) | 18 (3.61%) | 8 (1.39%) | 3 (0.95%) |
| 存在 | 0 (0.00%) | 1 (0.20%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |
| 様相 | 6 (3.08%) | 9 (1.81%) | 6 (1.04%) | 15 (4.76%) |
| 作用 | 2 (1.03%) | 11 (2.21%) | 2 (0.35%) | 10 (3.17%) |
| 時間 | 0 (0.00%) | 4 (0.80%) | 8 (1.39%) | 1 (0.32%) |
| 空間 | 4 (2.05%) | 13 (2.61%) | 21 (3.65%) | 13 (4.13%) |
| 形 | 0 (0.00%) | 7 (1.41%) | 12 (2.08%) | 3 (0.95%) |
| 量 | 12 (6.15%) | 11 (2.21%) | 16 (2.78%) | 10 (3.17%) |
| 人間 | 5 (2.56%) | 3 (0.60%) | 8 (1.39%) | 28 (8.89%) |
| 公私 | 0 (0.00%) | 2 (0.40%) | 0 (0.00%) | 2 (0.63%) |
| 社会 | 0 (0.00%) | 2 (0.40%) | 0 (0.00%) | 4 (1.27%) |
| 機関 | 0 (0.00%) | 3 (0.60%) | 2 (0.35%) | 2 (0.95%) |
| 心 | 29 (14.87%) | 103 (20.68%) | 86 (14.93%) | 34 (10.79%) |
| 言語 | 13 (3.59%) | 36 (7.23%) | 22 (3.82%) | 38 (12.06%) |
| 生活 | 1 (0.51%) | 5 (1.00%) | 4 (0.69%) | 8 (2.54%) |
| 行為 | 0 (0.00%) | 3 (0.60%) | 2 (0.35%) | 0 (0.00%) |
| 交わり | 3 (1.54%) | 14 (2.81%) | 2 (0.35%) | 8 (2.54%) |
| 待遇 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 1 (0.17%) | 2 (0.63%) |
| 経済 | 2 (1.03%) | 1 (0.20%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |
| 事業 | 2 (1.03%) | 3 (0.60%) | 4 (0.69%) | 4 (1.27%) |
| 物品 | 12 (6.15%) | 55 (11.04%) | 60 (10.42%) | 19 (6.03%) |
| 資材 | 7 (3.59%) | 21 (4.22%) | 45 (7.81%) | 27 (8.57%) |
| 衣料 | 6 (3.08%) | 21 (4.22%) | 19 (3.30%) | 9 (2.86%) |
| 食料 | 4 (2.05%) | 13 (2.61%) | 15 (2.60%) | 10 (3.17%) |
| 住居 | 6 (3.08%) | 9 (1.81%) | 16 (2.78%) | 8 (2.54%) |
| 道具 | 3 (1.54%) | 6 (1.20%) | 16 (2.78%) | 1 (0.32%) |
| 機械 | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |
| 土地利用 | 0 (0.00%) | 5 (1.00%) | 0 (0.00%) | 0 (0.00%) |
| 自然 | 1 (0.51%) | 6 (1.20%) | 11 (1.91%) | 2 (0.63%) |
| 物質 | 16 (8.21%) | 27 (5.42%) | 51 (8.85%) | 10 (3.17%) |
| 天地 | 4 (2.05%) | 16 (3.21%) | 11 (1.91%) | 4 (1.27%) |
| 生物 | 12 (6.15%) | 29 (5.82%) | 26 (4.51%) | 17 (5.40%) |
| 身体 | 35 (17.95%) | 38 (7.63%) | 83 (14.41%) | 16 (5.08%) |
| 生命 | 1 (0.51%) | 0 (0.00%) | 9 (1.56%) | 0 (0.00%) |
| **総計** | **195 (100%)** | **498 (100%)** | **576 (100%)** | **315 (100%)** |

次に表29によると、「身体」は「かたい」で17.95%、「硬い」で14.41%を占め、いずれも高い。「かたい」「硬い」はよく「身体」の名詞とともに用いられ、繰り返し使用されていることが多いということが分かる。

「心」は、「固い」で一番高く、20.68%を占めている。一方で、「かたい」「硬い」では異なって、14%程度を占めているにすぎない。よって、「心」の意味の名詞がよく「固い」と共に用いられている。語によって、「硬い」とも許容されるということが分かる。

「物品」は「固い」「硬い」で10%程度占めている一方、「かたい」「堅い」で6%に過ぎない。よって、「物品」の意味の名詞がよく「固い」「硬い」と共に用いられているが、語によって「かたい」「堅い」とも共に用いられているということが分かる。

表29の分析で分かるように、【かたい】のどの表記でも最もよく共に用いられている名詞は「物」であるが、「固い」「硬い」の方が多い。この点については、「物」という名詞は一般性を持ち、どの名詞でも「物」を代表として使用されているうちに、ほとんどの場合「物」は物体である。以下のような用例が挙げられる。

（5）母は歯が悪いので固いものは食べられません。

（BCCWJ、OC08\_02927、Yahoo!知恵袋、2005）

（6）ハムスターは、硬いものをかじる動物です。

（BCCWJ、LBq6\_00025、『ルームメートはハムスター』日本文芸社、2002）

このような場合では、「もの」は形が簡単に変われない物である。使用頻度が多いため（「固い」「硬い」でそれぞれ10%程度）、「固い」「硬い」は形が簡単に変われない物を表す名詞と共起することが多いと思われる。

「固い」では、「物」に続いて「決意」もよく共に用いられている。「固い決意」とは、意志がはっきり定め、変わらないということであり、つまり「心」の意味に近い。以上の分析によると「固い」が「心」の意味の名詞と共に用いられることが多いため、「固い」が「決意」と共に用いられることが多いということが分かる。

「硬い」では、「物」に続いて「表情」もよく共に用いられている。「硬い表情」は、以下のように使用されている。

（7）父は人は好いのだが短気で、かっと怒鳴りつけることがあった。すると母は硬い表情で口を閉ざしてしまう。気が変わりやすく、怒りが後に引かない父は、小一時間もしないうちに、けろりとしていつもの通りの彼に戻る。しかし母は心にわだかまりを残したまま、表には出さずに黙々と家事をつづける。父が爆発しても母が取りあわないから喧嘩にならず、私は両親の口論をほとんど見たことがなかった。

（LBn9\_00127、『花の寝床』集英社、1999）

以上の用例では、「硬い表情」は人間が緊張して、人間らしく喜怒哀楽を顔で表現できないという意味を持っている。これは「身体」の意味にも近いである。そのため、こういう場面では「表情」は「硬い」と共起するということである。ここで、「硬い」は形が変わらないという意味であると思われる。他には「皮」「骨」、つまり身体部位の意味の名詞はよく「硬い」と共に用いられているということが分かる。

「堅い」では、「物」に続いて「事」もよく共に用いられている。「堅い事」については、以下のような場面で用いられている。

（8）ところが、当然Ａで首切りは覚悟していたのに、何故か私の名前がリストにない。委員長の私を忘れるはずはない。労務の出先である管田寮長に嚙みついた。「私の名前がないのはどうしてか」「まあ、いいじゃないか。堅い事は言うな」彼はいつもの調子でとぼけている。更に、食い下がったので、労務の方針がおよそ判った。

（PB12\_00042、『わが戦後私記』松本正嘉、2001）

　用例を見ると、「事」は言語活動である。以上の表28と表29を見ると、「言語」は「堅い」が4つの表記のなかに一番高く、つまり言語に関することには「堅い」を使用することが多いということである。そのため、言語活動を表す「事」は「堅い」と共起することが多いと思われる。この場合では、「堅い」は「話が形式ばって面白くない」という意味を持っている。

本節における、「【かたい】＋名詞」という形式の分析と考察から共起する名詞の違いによって「固い」「硬い」「堅い」の意味の違いと使い分けを以下のようにまとめることができる。

「固い」

関係が強い・気持ちが変わらないという意味を持って、「決意」「絆」「信念」などの「心」の意味を持っている名詞と共に用いられる。また、形が簡単に変われない物を表す名詞、主に「物」、とも共に用いられる。

「硬い」

こわばっている・外力に強いという意味を持って、「物（物体）」「皮」「骨」などの物理的なイメージを持っている名詞と共に用いられる。また、「表情」とも共に用いられている。

「堅い」

信用できる、しっかりしているという意味を持って、「話」「守り」と共に用いられる。また、厳しい、話が形式ばって面白くないという意味を持って、「事（言葉活動）」と共に用いられる。

## 3.4．【かたい】共起する動詞―「【かたく】＋動詞」の形式

本節では、【かたい】と共起する名詞の分析を行う。具体的には【かたい】が形容詞として用いられる「【かたい】＋名詞」の使用形式を分析対象とする。

まずは、「【かたく】＋動詞」という形式で、【かたい】と共起する動詞上位10位を以下の表30で示す。

表30：【かたい】と共起する動詞上位10位

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 1位 | 成る 76 (28.15%) | 成る 206 (27.28%) | 成る 55 (30.22%) | 成る 321 (66.74%) |
| 2位 | 絞る 42 (15.56%) | 為る 111 (14.70%) | 為る 19 (10.44%) | 為る 85 (17.67%) |
| 3位 | 為る 38 (14.07%) | 守る 46 (6.09%) | 守る 17 (9.34%) | 尖る 11 (2.29%) |
| 4位 | 信ずる 18 (6.67%) | 結ぶ 35 (4.64%) | 信ずる 11　(6.04%) | 締まる 4 (0.83%) |
| 5位 | 閉ざす 10 (3.70%) | 閉じる 31 (4.11%) | 絞る 5 (2.75%) | 強張る 4 (0.83%) |
| 6位 | 守る 7 (2.59%) | 握り締める30 (3.97%) | 結ぶ 5 (2.75%) | 絞る 3 (0.62%) |
| 7位 | 握る 7 (2.59%) | 信ずる 28 (3.71%) | 閉ざす 5 (2.75%) | 張り詰める3 (0.62%) |
| 8位 | 結ぶ 6 (2.22%) | 禁ずる 26 (3.44%) | 締まる 4 (2.20%) | 引き締まる3 (0.62%) |
| 9位 | 抱く 5 (1.85%) | 閉ざす 25 (3.31%) | 閉じる 3 (1.65%) | 握り締める2 (0.42%) |
| 10位 | 有る 5 (1.85%) | 絞る 23 (3.05%) | 結び付く 3 (1.65%) | 閉じる 2 (0.42%) |

表30の1位を見てみると分かる通り、「かたい」のどの表記でも一番多く共起する動詞は「成る（ナル）」である。「成る（ナル）」は「かたい」で28.15%、「固い」で27.28%、「硬い」で30.22%、「堅い」で66.74%を占めている。

「成る（ナル）」に続いて、「為る（スル）」の使用頻度も多い。「為る（スル）」は「かたい」で14.07%、「固い」で14.70%、「硬い」で10.44%、「堅い」で17.67%を占めている。

しかし、「為る（スル）」と「成る（ナル）」は特別な動詞である。イ形容詞は、「スル」と「ナル」が付けて「○○くする」「○○くなる」として使用されることは文法的な現象に属し、「文法化」と呼ばれる。森山・渋谷によると、文法化というのは「本来文法形式でなかった語が通時的変化を経て文法形式になること」（森山・渋谷　2015、p.199）ということである。よって、この場合では「スル」と「ナル」は他の動詞と異なっている。【かたい】はどのような動詞と共起するかを分析する際に、文法的な現象を排除しなければならない。また、「為る（スル）」と「成る（ナル）」の使用頻度が圧倒的に多く、そのまま分析を行うと他の動詞の使用特徴・傾向が見えにくくなる。

したがって、本項では「為る（スル）」と「成る（ナル）」をデータから除外して分析を行う。以下の表31は「為る（スル）」と「成る（ナル）」が除外された共起する動詞の上位10位表である。

表31：【かたい】と共起する動詞上位10位―「為る」「成る」除外済み

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 順位 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 1位 | 絞る 42 (26.92%) | 守る 46 (10.55%) | 守る 17 (15.74%) | 尖る 11 (14.67%) |
| 2位 | 信ずる 18 (11.54%) | 結ぶ 35 (8.03%) | 信ずる 11 (10.19%) | 締まる 4 (5.33%) |
| 3位 | 閉ざす 10 (6.41%) | 閉じる 31 (7.11%) | 絞る 5 (4.63%) | 強張る 4 (5.33%) |
| 4位 | 守る 7 (4.49%) | 握り締める30 (6.88%) | 結ぶ 5 (4.63%) | 絞る 3 (4.00%) |
| 5位 | 握る 7 (4.49%) | 信ずる 28 (6.42%) | 閉ざす 5 (4.63%) | 張り詰める3 (4.00%) |
| 6位 | 結ぶ 6 (3.85%) | 禁ずる 26 (5.96%) | 締まる 4 (3.70%) | 引き締まる3 (4.00%) |
| 7位 | 抱く 5 (3.21%) | 閉ざす 25 (5.73%) | 閉じる 3 (2.78%) | 握り締める2 (2.67%) |
| 8位 | 有る 5 (3.21%) | 絞る 23 (5.28%) | 結び付く 3 (2.78%) | 閉じる 2 (2.67%) |
| 9位 | 閉じる 4 (2.56%) | 誓う 17 (3.90%) | 立つ 3 (2.78%) | 感ずる 2 (2.67%) |
| 10位 | 巻く 3 (1.92%) | 締まる 11 (2.52%) | 握り締める2 (1.85%) | しこる 2 (2.67%) |

表31をによると、「【かたい】＋動詞」という形式において、「かたい」では「絞る」が26.92%、「信ずる」が11.54%、を占めている。「固い」では、「守る」が10.55%を占めている。「硬い」では「守る」が15.74%、「信ずる」が10.19%を占めている。「堅い」では「尖る」が14.67%を占めている。これらの結果を見ると、「守り」「信ずる」は「硬い」と共起しないように見当たることに対して、「絞る」「閉じる」などの、どの表記とも共起する動詞が存在することが分かる。一方で、「固い」と「結ぶ」、「硬い」と「尖る」などの、表記によって特別な動詞とよく共起しているということもわかる。以下の節で詳しく分析を行う。

### 3.4.1．「かたい」と共起する動詞

本項から、【かたい】の各表記が「【かたく】＋動詞」という形式においてどのような動詞と共に用いられるのか、動詞の意味に着目して詳しい分析を行う。動詞の意味を分析する際には『分類語彙表』の分類に従う。

まずは、「かたい」と共起する動詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表32に示す。

表32：「かたい」と共起する動詞の意味（部門）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 21 (42.86%) | 43 (27.56%) | 閉ざす (10)、有る (5)、閉じる (4) |
| 活動 | 20 (40.82%) | 104 (66.67%) | 絞る (42)、信ずる (18)、守る (7) |
| 自然 | 8 (16.32%) | 9 (5.77%) | 凍る (2)、しこる (1)、乾く (1) |
| **総計** | **49 (100%)** | **156 (100%)** |  |

表32によると、「関係」の意味の動詞が一番多く、異なり語数で42.86%、延べ語数で27.56%を占めている。「関係」の意味の動詞は種類が多いが、使用回数が少ないということである。一方で、「活動」は異なり語数で40.82%、延べ語数で66.67%を占めている。「活動」の意味の動詞は種類だけでなく、使用回数も多いということである。

次に、「かたい」と共起する動詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表33で示す。

表33：「かたい」と共起する名詞の意味（中項目）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 類 | 2 (3.77%) | 3 (1.92%) | 結び付く (2)、繋ぐ (1) |
| 存在 | 3 (5.66%) | 7 (4.49%) | 有る (5)、立つ (1)、結ぶ (1) |
| 様相 | 3 (5.66%) | 3 (1.92%) | 引き締まる (1)、締まる (1)、締める (1) |
| 作用 | 15 (28.30%) | 30 (19.23%) | 閉ざす (10)、閉じる (4)、巻く (3) |
| 心 | 5 (9.43%) | 24 (15.38%) | 信ずる (18)、決める (2)、考える (2) |
| 言語 | 1 (1.89%) | 1 (0.64%) | 言い張る (1) |
| 生活 | 8 (15.09%) | 63 (40.38%) | 絞る (42)、握る (6)、抱く (5) |
| 交わり | 2 (3.77%) | 4 (2.55%) | 守る (3)、誓う (1) |
| 待遇 | 4 (7.55%) | 8 (5.10%) | 守る (4)、禁ずる (2)、縛る (1) |
| 事業 | 2 (3.77%) | 4 (2.56%) | 泡立てる (3)、握る (1) |
| 自然 | 2 (3.77%) | 2 (1.27%) | 光る (1)、強張る (1) |
| 物質 | 4 (7.55%) | 5 (3.21%) | 凍る (2)、乾く (1)、凍り付く (1) |
| 生命 | 2 (3.77%) | 2 (1.27%) | しこる (1)、凝る (1) |
| **総計** | **53 (100%)** | **156 (100%)** |  |

表33によると、「作用」は異なり語数で28.30%、延べ語数で19.23%を占めている。「作用」の意味の動詞は種類が多いが、使用回数が多くないということである。一方で、「生活」は異なり語数で15.09%、延べ語数で40.38%を占めている。「生活」の意味の動詞は種類が多くないが、使用回数が多いということである。

### 3.4.2．「固い」と共起する動詞

次に、「固い」と共起する動詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表34に示す。

表34：「固い」と共起する動詞の意味（部門）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 42 (42.86%) | 154 (35.32%) | 閉じる (31)、閉ざす (25)、結ぶ (22) |
| 活動 | 46 (46.94%) | 262 (60.09%) | 握り締める (30)、禁ずる (26)、絞る (23) |
| 自然 | 10 (10.20%) | 20 (4.59%) | 強張る (7)、干上がる (1)、引き攣る (1) |
| **総計** | **98 (100%)** | **436 (100%)** |  |

表34によると、「活動」の意味の動詞が一番多く、異なり語数で46.94%、延べ語数で60.09%を占めている。「活動」の意味の動詞は種類だけでなく、使用回数も多いということである。一方で、「関係」は異なり語数で42.86%、延べ語数で35.32%を占めている。「活動」の意味の動詞は種類が多いが、「活動」の意味の動詞と比べて使用回数が多くないということである。

次に、「固い」と共起する動詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表35で示す。

表35：「固い」と共起する名詞の意味（中項目）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 類 | 2 (1.96%) | 7 (1.61%) | 結び付く (5)、結び付ける (2) |
| 存在 | 5 (4.90%) | 16 (3.67%) | 結ぶ (12)、保つ (1)、持つ (1) |
| 様相 | 5 (4.90%) | 17 (3.90%) | 締まる (7)、張り詰める (5)、引き締まる (3) |
| 作用 | 33 (32.35%) | 114 (26.15%) | 閉じる (31)、閉ざす (25)、結ぶ (10) |
| 心 | 9 (8.82%) | 47 (10.78%) | 信ずる (28)、考える (5)、信じ込む (4) |
| 言語 | 2 (1.96%) | 3 (0.69%) | 言い含める (2)、封ずる (1) |
| 生活 | 16 (15.69%) | 98 (22.48%) | 握り締める (30)、絞る (23)、結ぶ (13) |
| 行為 | 1 (0.98%) | 1 (0.23%) | 成し遂げる (1) |
| 交わり | 5 (4.90%) | 57 (13.07%) | 守る (35)、誓う (17)、拒む (2) |
| 待遇 | 6 (5.88%) | 42 (9.63%) | 禁ずる (26)、守る (11)、戒める (2) |
| 事業 | 8 (7.84%) | 14 (3.21%) | 泡立てる (5)、縒る (2)、詰める (2) |
| 自然 | 2 (1.96%) | 8 (1.83%) | 強張る (7)、冴える (1) |
| 物質 | 6 (5.88%) | 7 (1.61%) | 凍る (2)、ぱさつく (1)、乾く (1) |
| 生命 | 2 (1.96%) | 5 (1.15%) | しこる (4)、引き攣る (1) |
| **総計** | **102 (100%)** | **436 (100%)** |  |

表35によると、「作用」の意味の動詞が一番多く、異なり語数で32.35%、延べ語数で26.15%を占めている。しかし、異なり語数は延べ語数よりも少ないので、「作用」の意味の動詞の種類が多く、使用回数は少ないということである。また、「生活」の意味の動詞も多く、異なり語数で15.69%、延べ語数で22.48%を占めている。これの種類が多く、使用回数も多いということである。

### 3.4.3．「硬い」と共起する動詞

次に、「硬い」と共起する動詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表36に示す。

表36：「硬い」と共起する動詞の意味（部門）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 20 (45.45%) | 40 (53.33%) | 尖る (11)、締まる (4)、引き締まる (3) |
| 活動 | 11 (25.00%) | 16 (21.33%) | 絞る (3)、感ずる (2)、握り締める (2) |
| 自然 | 13 (29.55%) | 19 (25.33%) | 強張る (4)、しこる (2)、凝る (2) |
| **総計** | **44 (100%)** | **75 (100%)** |  |

表36によると、「関係」の意味の動詞が一番多く、異なり語数で45.45%、延べ語数で53.33%を占めている。「活動」は異なり語数で25.00%、延べ語数で21.33%を占めている。同じく、「自然」は異なり語数で29.55%、延べ語数で25.33%を占めている。「関係」「活動」「自然」の意味の動詞はいずれも、種類だけでなく、使用回数も多いということである。

次に、「硬い」と共起する動詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表37で示す。

表37：「硬い」と共起する名詞の意味（中項目）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 存在 | 2 (4.44%) | 2 (2.67%) | 仕上がる (1)、有る (1) |
| 様相 | 6 (13.33%) | 13 (17.33%) | 締まる (4)、引き締まる (3)、張り詰める (3) |
| 作用 | 13 (28.89%) | 25 (33.33%) | 尖る (11)、閉じる (2)、膨れ上がる (2) |
| 心 | 2 (4.44%) | 3 (4.00%) | 感ずる (2)、見える (1) |
| 生活 | 7 (15.56%) | 10 (13.33%) | 絞る (3)、握り締める (2)、握り返す (1) |
| 事業 | 2 (4.44%) | 3 (4.00%) | 茹でる (2)、焼き上がる (1) |
| 自然 | 2 (4.44%) | 5 (6.67%) | 強張る (4)、ごわつく (1) |
| 物質 | 6 (13.33%) | 8 (10.67%) | 凝る (2)、焼き上げる (2)、乾く (1) |
| 生命 | 5 (11.11%) | 6 (8.00%) | しこる (2)、かじかむ (1)、引き攣る (1) |
| **総計** | **45 (100%)** | **75 (100%)** |  |

表37によると、「作用」の意味の動詞が一番多く、異なり語数で28.89%、延べ語数で33.33%を占めている。「作用」の意味の動詞の種類だけでなく、使用回数も多いということである。

### 3.4.4．「堅い」と共起する動詞

次に、「堅い」と共起する動詞の意味を『分類語彙表』の「部門」に基づいて分析する。分析結果を以下の表38に示す。

表38：「堅い」と共起する動詞の意味（部門）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部門 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 関係 | 16 (29.09%) | 29 (26.85%) | 閉ざす (5)、締まる (4)、結び付く (3) |
| 活動 | 32 (58.18%) | 71 (65.74%) | 守る (17)、信ずる (11)、絞る (4) |
| 自然 | 7 (12.73%) | 8 (7.41%) | 干す (2)、乾く (1)、冴える (1) |
| **総計** | **55 (100%)** | **108 (100%)** |  |

表38によると「活動」の意味の動詞が一番多く、異なり語数で58.18%で、延べ語数で65.74%を占めている。同じく、「関係」は異なり語数で29.09%で、延べ語数で26.85%を占めている。「活動」「関係」の意味の動詞は種類だけでなく、使用回数も多いということが分かる。

次に、「堅い」と共起する動詞の意味をさらに細かく、『分類語彙表』の「中項目」に基づいて分析する。分析結果を以下の表39で示す。

表39：「堅い」と共起する名詞の意味（中項目）に基づいて分析した結果

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | 異なり語数 | 延べ語数 | 語例 |
| 類 | 1 (1.72%) | 3 (2.78%) | 結び付く (3) |
| 存在 | 1 (1.72%) | 1 (0.93%) | 結ぶ (1) |
| 様相 | 2 (3.45%) | 4 (3.70%) | 締まる (3)、張り詰める (1) |
| 作用 | 14 (24.14%) | 21 (19.44%) | 閉ざす (5)、閉じる (3)、縮む (2) |
| 心 | 9 (15.52%) | 20 (18.52%) | 信ずる (11)、考える (2)、合わせる (1) |
| 言語 | 1 (1.72%) | 1 (0.93%) | 言う (1) |
| 生活 | 9 (15.52%) | 19 (17.59%) | 絞る (4)、立つ (3)、結ぶ (3) |
| 行為 | 2 (3.45%) | 2 (1.85%) | 継ぐ (1)、致す (1) |
| 交わり | 4 (6.09%) | 17 (15.74%) | 守る (14)、契る (1)、拒む (1)、鎧う (1) |
| 待遇 | 6 (10.34%) | 10 (9.26%) | 守る (3)、戒める (2)、禁ずる (2) |
| 事業 | 2 (3.45%) | 2 (1.85%) | 泡立てる (1)、焚く (1) |
| 自然 | 2 (3.45%) | 2 (1.85%) | 冴える (1)、強張る (1) |
| 物質 | 5 (8.62%) | 6 (5.56%) | 干す (2)、乾く (1)、冷める (1) |
| **総計** | **58 (100%)** | **108 (100%)** |  |

表39によると、「心」の意味の動詞が一番多く、異なり語数で15.52%、延べ語数で18.52%を占めている。同じく、「生活」は異なり語数で15.52%、延べ語数で17.59%を占めている。「心」「生活」の意味の動詞の種類だけでなく、使用回数も多いということである。

### 3.2.5．分析のまとめ考察

　最後に、前項までの分析結果をまとめる。以下の表40は、【かたい】と共起する名詞  
の意味（部門）を異なり語数でまとめた結果である。

表40：【かたい】と共起する動詞の意味（部門）を異なり語数でまとめた結果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 関係 | 21 (42.86%) | 42 (42.86%) | 20 (45.45%) | 16 (29.09%) |
| 活動 | 20 (40.82%) | 46 (46.94%) | 11 (25.00%) | 32 (58.18%) |
| 自然 | 8 (16.32%) | 10 (10.20%) | 13 (29.55%) | 7 (12.73%) |
| **総計** | **49 (100%)** | **98 (100%)** | **44 (100%)** | **55 (100%)** |

表40によると、「関係」は「かたい」で一番高く、42.86%を占めている。続いて「硬い」で45.45%、「固い」で42.86%、「堅い」で29.09%を占めている。「関係」の意味の動詞はよく「かたい」「固い」「硬い」と共に用いられているが、語によって「堅い」とも許容されるということが分かる。

以下の表41は、【かたい】と共起する動詞の意味（部門）を延べ語数でまとめた結果である。

表41：【かたい】と共起する動詞の意味（部門）を延べ語数でまとめた結果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 部門 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 関係 | 43 (27.56%) | 154 (35.32%) | 40 (53.33%) | 29 (26.85%) |
| 活動 | 104 (66.67%) | 262 (60.09%) | 16 (21.33%) | 71 (65.74%) |
| 自然 | 9 (5.77%) | 20 (4.59%) | 19 (25.33%) | 8 (7.41%) |
| **総計** | **156 (100%)** | **436 (100%)** | **75 (100%)** | **108 (100%)** |

表41によると、「関係」は「硬い」で一番高く、53.33%を占めている。同じく、「自然」は「硬い」で一番高く、25.33%を占めている。一方で、「活動」は「かたい」「固い」「堅い」で60%程度を占めているという点において共通しているが、「硬い」で21.33%を占めているという点において異なっている。

以下の表42は、【かたい】と共起する動詞の意味（中項目）を異なり語数でまとめた結果である。

表42：【かたい】と共起する動詞の意味（中項目）を異なり語数でまとめた結果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 類 | 2 (3.77%) | 2 (1.96%) | 0 (0.00%) | 1 (1.72%) |
| 存在 | 3 (5.66%) | 5 (4.90%) | 2 (4.44%) | 1 (1.72%) |
| 様相 | 3 (5.66%) | 5 (4.90%) | 6 (13.33%) | 2 (3.45%) |
| 作用 | 15 (28.30%) | 33 (32.35%) | 13 (28.89%) | 14 (24.14%) |
| 心 | 5 (9.43%) | 9 (8.82%) | 2 (4.44%) | 9 (15.52%) |
| 言語 | 1 (1.89%) | 2 (1.96%) | 0 (0.00%) | 1 (1.72%) |
| 生活 | 8 (15.09%) | 16 (15.69%) | 7 (15.56%) | 9 (15.52%) |
| 行為 | 0 (0.00%) | 1 (0.98%) | 0 (0.00%) | 2 (3.45%) |
| 交わり | 2 (3.77%) | 5 (4.90%) | 0 (0.00%) | 4 (6.09%) |
| 待遇 | 4 (7.55%) | 6 (5.88%) | 0 (0.00%) | 6 (10.34%) |
| 事業 | 2 (3.77%) | 8 (7.84%) | 2 (4.44%) | 2 (3.45%) |
| 自然 | 2 (3.77%) | 2 (1.96%) | 2 (4.44%) | 2 (3.45%) |
| 物質 | 4 (7.55%) | 6 (5.88%) | 6 (13.33%) | 5 (8.62%) |
| 生命 | 2 (3.77%) | 2 (1.96%) | 5 (11.11%) | 0 (0.00%) |
| **総計** | **53 (100%)** | **102 (100%)** | **45 (100%)** | **58 (100%)** |

表42によると、「作用」は「固い」で32.35%を占めている一方、「かたい」「硬い」「堅い」で25%程度を占めている。「作用」の意味の動詞が【かたい】の4つの表記とも共に用いられているということが分かる。

また、「生活」は4つの表記でいずれも15%程度であるという点において共通している。「生活」の意味の動詞は「かたい」「固い」「硬い」「堅い」といずれも共に用いられているということである。

一方で「心」は「堅い」で一番高く、15.52%を占めている。よって、「堅い」は「心」の意味の名詞のさまざまな種類とともに用いられているということが分かる。

以下の表43は、【かたい】と共起する動詞の意味（中項目）を延べ語数でまとめた結果である。

表43：【かたい】と共起する動詞の意味（中項目）を異なり語数でまとめた結果

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 中項目 | かたい | 固い | 硬い | 堅い |
| 類 | 3 (1.92%) | 7 (1.61%) | 0 (0.00%) | 3 (2.78%) |
| 存在 | 7 (4.49%) | 16 (3.67%) | 2 (2.67%) | 1 (0.93%) |
| 様相 | 3 (1.92%) | 17 (3.90%) | 13 (17.33%) | 4 (3.70%) |
| 作用 | 30 (19.23%) | 114 (26.15%) | 25 (33.33%) | 21 (19.44%) |
| 心 | 24 (15.38%) | 47 (10.78%) | 3 (4.00%) | 20 (18.52%) |
| 言語 | 1 (0.64%) | 3 (0.69%) | 0 (0.00%) | 1 (0.93%) |
| 生活 | 63 (40.38%) | 98 (22.48%) | 10 (13.33%) | 19 (17.59%) |
| 行為 | 0 (0.00%) | 1 (0.23%) | 0 (0.00%) | 2 (1.85%) |
| 交わり | 4 (2.55%) | 57 (13.07%) | 0 (0.00%) | 17 (15.74%) |
| 待遇 | 8 (5.10%) | 42 (9.63%) | 0 (0.00%) | 10 (9.26%) |
| 事業 | 4 (2.56%) | 14 (3.21%) | 3 (4.00%) | 2 (1.85%) |
| 自然 | 2 (1.27%) | 8 (1.83%) | 5 (6.67%) | 2 (1.85%) |
| 物質 | 5 (3.21%) | 7 (1.61%) | 8 (10.67%) | 6 (5.56%) |
| 生命 | 2 (1.27%) | 5 (1.15%) | 6 (8.00%) | 0 (0.00%) |
| **総計** | **156 (100%)** | **436 (100%)** | **75 (100%)** | **108 (100%)** |

表43によると、「作用」は、「硬い」で33.33%を占めている一方、「固い」で26.15%、「かたい」「堅い」で19%程度である。つまり、「作用」の意味の動詞は4つの表記の中に「硬い」と共に用いられ、繰り返し使用されることが一番多く、二番目多いのは「固い」ということである。

次に「様相」は「硬い」で17.33%を占めている。つまり、「様相」の意味の動詞はよく「硬い」と共に用いられ、繰り返し使用されることが多いということである。

次に「生活」は「かたい」で一番高く、40.38%を占めている。続いて、「固い」で22.48%、「堅い」で17.59%、「硬い」で13.33%を占めている。「生活」の意味の動詞が「かたい」と共に用いられ、繰り返し使用されることが多いということである。

次に「心」は「堅い」で一番高く、18.52%を占めている。「堅い」と異なって、「硬い」で4.00%に過ぎない。「心」の意味の動詞が「堅い」と共に用いられ、繰り返し使用されることが多いということである。

以上の分析によって以下のようなことが考えられる。

「生活」の意味の動詞と共に用いられている一番多いのは「かたい」である。「絞る」「握る」「結ぶ」などの語例が挙げられる。以下のような場面に使用されている。

（9）大かぶは水でよく洗い、八つ切りにして二ミリ幅に薄切りする。塩をふり、容器に入れ軽く重石をしておくと、水が出てくるので、取り出してかたく絞る。それを瓶に入れ、酢漬け液を入れる。

（BCCWJ、LBl5\_00010、『漬けもの手ごころ、味ごころ』雄鷄社、1997）

（10）ココナッツフレークを振ってバナナをのせ、できるだけ空気が入らないように端をつまみ合わせて包む。かたくしぼったぬれぶきんをかぶせ、十五分ほどおいて二次発酵させる。

（BCCWJ、LBr5\_00011、『フライパンでおうちパンを焼こう！』主婦の友社、2003）

以上の用例を見ると、これは日常生活に関する行動である。日常生活のため、語の特徴的な意味を意識せず「かたい」で記述するだけで十分だからであると思われる。されに用例を見るとこれは生活のガイドブックのような書物のため誰でも簡単に読めるるように記述したからだと思われる。

「固い」とよく共起する動詞は「守る」「結ぶ」「握り締める」「信ずる」「禁ずる」である。これらの動詞は関係・結びつきを表す動詞である。よって、「固い」は関係・結びつきがを表す動詞とよく共起し、その関係・結びつきが強いという意味になると思われる。

「硬い」とよく共起する動詞は「尖る」「強張る」「締まる」「絞る」「握り締める」である。以下のような用例を挙げられる。

（11）文章にも、心地よさは必要である。音楽や絵のように、硬くこわばった心をほぐすような心地よさは、文章にだって必要なのだと思う。

（BCCWJ、PM41\_00539、『ＣＯＳＭＯＰＯＬＩＴＡＮ　日本版』集英社、2004）

（12）老女の手には、赤いちりめんの布で縫われたお手玉が三つ、硬く握り締められている。「今日はお手玉？」　章の言葉に、かすかに老女がうなずいた。

（BCCWJ、PB19\_00222、『シャドー・イーグル』集英社、2001）

用例を読むと、これらの動詞が物の状態・性質を変えることを表す動詞である。また、以上記述したように、「硬い」は「様相」の意味の動詞とよく共起する。よって、「硬い」は状態・性質が変わらないことを表す動詞と共起することが多いと思われる。

「堅い」と共起する「心」の意味の動詞には「信じる・信ずる」「見える」「思い込む」「考える」などという信念的・意志的な動詞が挙げられる。よって、「心」の意味の動詞は「堅い」と共に用いられることが多いと思われる。

本節における、「【かたく】＋動詞」という形式の分析と考察から共起する名詞の違いによって「固い」「硬い」「堅い」の意味の違いと使い分けを以下のようにまとめることができる。

「固い」

結びつき・関係をあらわす動詞とよく共起し、その結びつきが強く、その関係が簡単に変わらないという意味として用いられる。

「硬い」

動作・行為をあらわす動詞とよく共起し、力を入れて作動するという意味として用いられる。

「堅い」

「締まる」「感ずる」などの信念的・抽象的な動詞とよく共起し、確実する、または信用できるという意味として用いられる。

# 結論

本研究では、異字同訓の使い分け問題として【かたい】の各表記「かたい」「固い」「硬い」「堅い」の使い分けを明らかにするために、BCCWJの検索アプリケーション「中納言」を利用し、データを収集し分析を行った。

収集したデータによって【かたい】の各表記が使用されているレジスターと、各表記と共に使用されている名詞及び動詞の性質の観点から分析と考察を行った結果により、以下の2点が明らかになった。

1点目は、「かたい」が使われる場面である。「かたい」は「国会会議録」と「教科書」でよく使用されている。「国会会議録」では発言者と記録者が別人であり、記録者は発言者がどの表記を意図して発言したのか判断が難しいため、「かたい」で記録している。「教科書」では主な内容は【かたい】の表記ではないため「かたい」で記録している。

2点目は「固い」「硬い」「堅い」の意味用法のちがいである。「固い」「硬い」「堅い」の基本的な意味用法は、以下のように記述する。

「固い」

関係が、結びつきが強く、簡単に変わらないという中心的な意味を持つ。「作用」「心」「生活」という意味を持つ語とよく用いられる傾向がある。

（例：頭（慣用句）、結束、決意、絆、結ぶ、信じる、握る）

「硬い」

（物理的に）外力に強く、形・性質が簡単に変わらないという中心的な意味を持つ。「身体」「物品」「心」という意味を持つ語とよく用いられる傾向がある。

（例：体、骨、皮、木、表情、(扉を）閉じる、締まる、（物が）こわばる）

「堅い」

信用できる・確実である・気持ちが変わらないという中心的な意味を持つ。「交わり」「言語」「作用」という意味を持つ語とよく用いられる傾向がある。

（例：口（慣用句）、話、守り、信じる、結ぶ、（心を）閉じる）

最後に、本研究の課題点を指摘しておきたい。共起する名詞及び動詞の意味の分類を細かいグループ「分類項目」まで分析しなかったということである。例えば、同じ「心」という中項目に分類された名詞であっても、【かたい】の表記によって共起する語が異なっていた。「固い」は「決心」「決意」などの名詞と共起している一方、「硬い」は「声」「印象」などの名詞と共起している。より細かい分析が必要であると思われる。今後、本研究の足りない部分を補い、【かたい】の各表記の使用実態を更に詳しく分析したい。

また、異字同訓の使い分け問題として、［堅い・固い・硬い］だけでなく、『「異字同訓」の漢字の使い分け例（報告）』に記述されている他の同訓の漢字の132組も研究したい。

# 参考文献

文化審議会国語分科会（2014）『「異字同訓」 の漢字の使い分け例（報告）』。

市川　孝（2001）『三省堂現代新国語辞典　第十刷発行』、三省堂。

金田一　春彦（2002）『学研 現代新国語辞典　改訂第三版』、学研研究社。

国際交流基金（2017）『海外の日本語教育の現状　2015年度日本語教育機関調査より』。

国際交流基金（2020）『海外の日本語教育の現状　2018年度日本語教育機関調査より』。

李　在鎬・石川　慎一郎・砂川　有里子（2018）「新・日本語教育のためのコーパス調査入門」、くろしお出版。

森山　卓郎（2015）「文法化」、森山　卓郎・渋谷　勝己『明解日本語学辞典』、三省堂、p.199。

野中　大輔（2015）「コーパス言語学」、斎藤　純男・田口　善久・西村　義樹『明解言語学辞典』、三省堂、pp.89-90。

小椋　秀樹（2020）『日本語の語彙・表記（コーパスで学ぶ日本語学）』、朝倉書店。

沖森　卓也（2014）「異字同訓とは」、宮地　裕・甲斐　睦『日本語学』、明治書院、  
pp.6-13。

大野　晋・田中　章夫（1995）『角川必携国語辞典　初版発行』、角川書店。

山田　進（2014）「意味から見た異字同訓」、宮地　裕・甲斐　睦『日本語学』、明治書院、pp.14-22。

山田　俊雄・吉川　泰雄（1981）『角川新国語辞典　初版発行』、角川春樹。

# 参考資料

文化庁（2010）『常用漢字表』。

八亀　裕美（2015）「形容詞」、森山　卓郎・渋谷　勝己『明解日本語学辞典』、三省堂、p.53。

国立国語研究所（2020）『分類語彙表増補改訂版データベース』（ver.1.0.1）。

国立国語研究所『『現代日本語書き言葉均衡コーパス』利用の手引 第1.1版』。

国立国語研究所『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（中納言2.4.5　データバージョン2020.02）。

小学館『デジタル大辞泉』（2021年2月閲覧）。

梅田　邦夫（2018）「日ベトナム関係の現状」、在ベトナム日本国大使館（[https://  
www.vn.emb-japan.go.jp/files/000352067.pdf](https://www.vn.emb-japan.go.jp/files/000352067.pdf)）。

1. 累計投資認可額というのは、これまでの国家が認めた投資金額の合計である。 [↑](#footnote-ref-1)
2. 独立行政法人日本学生支援機構とは、日本において、主に学生に対する奨学金事業や留学支援・外国人留学生の就学支援を行う独立行政法人（中期目標管理法人）である。JASSOとも呼ばれる。 [↑](#footnote-ref-2)
3. 常用漢字表とは、一般の社会生活において、現代の国語を書き表す場合の漢字使用の目安を表す表である。現在2136字が掲載されている。 [↑](#footnote-ref-3)
4. 音読みとは、昔の中国の発音を基にした読みである。訓読みとは、漢字の意味を表す日本の読みである。 [↑](#footnote-ref-4)
5. 日本語では、そもそも正書法が存在しない。 [↑](#footnote-ref-5)
6. 「短単位検索」というのは『中納言』で採用されている単語の短単位（意味を持つ最小の単位）を使う検索ツールである。 [↑](#footnote-ref-6)
7. 「語彙素」は辞書の見出し語に相当する。『中納言』には、【かたい】の語彙素は「固い」と設定されている。 [↑](#footnote-ref-7)
8. 以降下線は筆者による。 [↑](#footnote-ref-8)
9. 用例の出典は、「BCCWJ、[サンプルID]、[出典]、[出版年]」順に記述する。 [↑](#footnote-ref-9)
10. 白書というのは、中央省庁による発行された、政府の施策について国民に知させるものである。 [↑](#footnote-ref-10)
11. 知恵袋というのはYahoo!やQuoraなどが提供するQ&Aサービスである。一般的にユーザーが質問を通して「ノウハウ・知識・心得」を共有する。 [↑](#footnote-ref-11)
12. 韻文というのは、リズムで書かれ、「詩」「短歌」「長歌」などである。 [↑](#footnote-ref-12)
13. 『分類語彙表』は語を意味によって分類・整理したシソーラス (類義語集)である。本研究では、2020年12月4日時点リリース版を用いる。 [↑](#footnote-ref-13)
14. 小学生の漢字プリント（<https://www.kanji1006.com/all/3nen.html>）に参点。 [↑](#footnote-ref-14)